

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
53140	5.2.1	追加および編集	UDFフィールドの所有者に指定されている所有者の名前が一意でなかった場合の問題が修正されました。	管理者がUDFフィールド内の値に新しい所有者を指定し、その名前が一意でなかった（つまり、その所有者が別のユーザと同一の姓と名前を持っていた）場合、更新が失敗していました。本件は修正されました。
54597	5.2.1	管理	姓と名前の組み合わせが既に存在している新しいユーザを追加すると、ユーザ・アカウント画面のホームページ・レポート・リストがクリアされていました。	ExtraViewには、管理者が新しいユーザを追加しようとしたときに、その姓と名前の組み合わせが既に存在していないかをチェックする機能があります。このチェック機能では同じ名前を持つユーザの追加は防止されず、チェックが表示されたとき、管理者によって設定されたホームページ・レポートの値が誤ってクリアされてしまい、いったん作成されると管理者がアカウントを更新する必要がありました。現在では、入力された値がプロセス全体で保持されます。
54698	5.2.1	許容値	許容値の関係にMODULE_IDフィールドを使用すると、依存する許容値の更新が失敗する場合があります。	この現象はバグというよりむしろ、許容値の関係において組み込みのMODULE_IDフィールドを処理する方法の違いによるものです。MODULE_IDの動作が、許容値の関係における他のフィールドの動作と一致するように変更されました。
55792	5.2.2	許容値	親値がヌルである許容値が正しく動作していませんでした。	これは、旧バージョンで親値のない子値が存在することが許容されていた場合のアップグレードに関連する問題でした。インストールでこれが必要とされる場合、現在の方法では"missing"という親をissueの領域にマッピングします。
53253	5.2.1	関係者リスト	関係者リストのタイトルが"null"という語で作成されました。	この現象は、追加/編集画面にissueのSHORT_DESCR(タイトル)がないとき、ユーザがそのissueに対して通知オプションを使用して関係者リストを作成した場合に発生していました。"null"は技術的に誤りではありませんが、紛らわしい表現です。関係者リストはタイトルなしで作成されるようになりました。
54148	5.2.1	パフォーマンス	Extraviewでは1ページの中にいくつかのJavaScriptファイルが2回含まれていました。	これは機能上の問題ではありませんが、少数のコンピュータ上のブラウザにおいて、ファイルの2番目のコピーを「ダウンロード」するとき異常に時間がかかっていました。実のところ、JavaScriptファイルが既にキャッシュされていることをブラウザが証明するのに過剰な時間がかかっていました。JavaScriptファイルの2番目のインスタンスを消去することにより、すべての顧客でわずかに速度が改善され、一部の顧客ではより顕著に速度が改善されています。
54747	5.2.1	ルール・エンジン	ビジネスルールの問題 - 新しいissueの作成に対する反応が過剰であるために、いくつかの値が供給されていませんでした。	ルールでADDディレクティブによって作成される新しいissue内のフィールドに値を作成しようとしたとき、フィールドの値が{NULL}である場合に、ADDコマンドが失敗することがありました。本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
53999	5.2.1	クエリ/レポート	テキストエリア/リピーティング行フィールドのHTMLタグ情報がカラム・レポートの出力に表示されていました。	この問題は、ユーザがリピーティング行のテキストエリア・フィールドを表示させていた場合に、カラム・レポートに影響していました。レポート出力に<nobr>...</nobr>タグが表示されていました。本件は修正されました。
54175	5.2.2	クエリ/レポート	詳細クエリで、フィルタとして入力されたポップアップの値がクリアされることがありました。	表示タイプがポップアップであるフィールド・フィルタに値を入力したとき、ポップアップ・リストから値が選択されるのではなく、画面がリフレッシュされて別のフィルタが追加され、手動で入力された値が失われていました。本件は修正されました。
54176	5.2.2	クエリ/レポート	レポート・エディタで、RELEASE_FOUNDフィールドに入力された値が記憶されていませんでした。	これは非UDFフィールドにのみ影響するバグで、フィルタとしてレポート・エディタにロードされる保存済みレポートの値が無効になっていました。値がもはや有効でなくても、フィルタを記憶しておくことが重要となる場合があります。ExtraViewは代わりにnull:nullを表示していました。本件は修正されました。
54413	5.2.2	クエリ/レポート	特定のキーワード検索クエリによってデータベースがハングアップしていました。	これは一顧客サイトにのみ影響していた問題で、不明瞭ではあるものの反復的に発生していました。キーワード検索の実行時、データベースによるクエリの完了に非常に長い時間がかかるか、あるいはクエリが完了しませんでした。この問題の原因はOracleデータベースにあり、Oracleのクエリ・オプティマイザが完全に有効なクエリを処理していませんでした。対処策として、弊社では問題を回避するためにクエリを書き直しました。長期的には、より適切な解決策としてOracle社からデータベース用のパッチを入手したいと考えています。この問題はデータベースにOracleを使用する他の顧客にも影響する可能性があります。現在のところはそのような報告はありません。
54883	5.2.1	クエリ/レポート	フィルタ基準が有効でなくなると、レポートの編集または削除が行えませんでした。	ユーザがレポートを編集しようとする、レポートで選択されたフィルタ値が何らかの理由によりデータベースに存在しなくなっており、エラーが発生してレポートにアクセスできませんでした。現在では、フィルタ値がデータベースから何らかの理由で削除されている場合、警告が出力されて値がもう有効でないことを示します。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
54978	5.2.2	クエリ/レポート	RELEASE_FOUND、RELEASE_FIXED、およびMODULE_IDのタイトルを検索したとき、期待される結果が返されないことがありました。	履歴に関連する（そして全く妥当な）理由により、RELEASE_FOUND、RELEASE_FIXED、およびMODULE_IDフィールドに使用される検索クエリは、それらがポップアップ表示タイプとして使用される場合、クエリにおけるフィールド・タイトルではなく、フィールドの名前を使用していました。多くの顧客がこの動作に依存して、ほとんどの場合に管理機能でフィールドの名前とタイトルの両方に同じ値を指定しています。名前とタイトルが異なるという異常な状況下で、かつユーザがタイトルを検索すると、データベースではこれが見つかりません。この問題を部分的に解決するために、値と名前が異なる場合にはポップアップにタイトルの値を示すようにしました。この問題は、表示タイプにポップアップではなくリストを使用している場合は発生しません。
55003	5.2.2	ユーザ・インタフェースの問題	追加画面および編集画面のメーリングリストが、Firefoxブラウザでは正しく折り返されていませんでした。	あるissueのメーリングリストに非常に多数のユーザが登録されていた場合にのみ、この外観的な問題がFirefox ユーザに影響していました。この現象が起きたとき、リストが正しく折り返されず、画面の右に広がり、横方向のスクロールが発生することがありました。
55182	5.2.2	ユーザ・インタフェースの問題	追加画面および編集画面で添付ファイルのタイトルが過度に大きく表示されることがありました。	これは純粋に外観的な問題で、添付ファイル行のタイトル表示が他の添付ファイルのデータ行と比べて過度に大きく表示されることがありました。タイトル行は、レイアウト上のリピーティング行のタイトル行と同程度の大きさにレンダリングされるようになっています。
48755	5.1	添付ファイル	添付ファイル表示メタデータは日本語で正しくレンダリングされないことがありました。	添付ファイル表示内のメタデータとして長い文字列を日本語で表示するとき、データに空白文字が全くない場合、Internet Explorerにおいて、メタデータが画面上に横方向ではなく縦方向にレンダリングされることがありました。これはブラウザのエラーであることが判明しましたが、生成されるHTMLを変更し、この現象が発生する可能性を低減しました。
57871	5.2.3	API & CLI	フローティング・ライセンスではなくユーザロック・ライセンスのユーザでも、ライセンスが期限切れになることがありました。	これはほとんど発生しなかったバグですが、修正されました。
60747	5.2.2	API & CLI	動作設定MULTI_RELEASE_XMLをYESに設定すると、evgetコマンドでリピーティング行レコードのデータが切り捨てられていました。	これはバグでしたが、修正されました。
62141	5.2.2	API & CLI	動作設定MULTI_RELEASE_XMLの値をYESに変更した後、evsearch -cのデータが異なる形式で区切られていました。	この問題はサーバから返されたデータの区切り方に影響していました。このバグは一貫した形式になるように修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
62499	5.2.2	API & CLI	evreportでレポートを実行しようとするエラーが発生していました。	あるユーザがCLI経由でレポートを実行しようとする、一貫してインデックスが領域外であるとの例外が出力されていました。 これはデータ関連の問題でしたが、修正されました。
56727	5.2.2.2	追加および編集	新たに追加されたリピーティング行フィールドでレンダリングの問題が発生し、ヌル・ポインタがログに表示されていました。	これはレイアウト上のフィールドにヌル値があるために発生したバグでした。この問題を引き起こしていた条件は修正されました。
58601	5.1.1	追加および編集	サイトにおいて、添付ファイルのあるissueを削除できませんでした。	これはSQLサーバ・データベースのインストールにおいてのみ発生する問題でした。現在は、添付ファイルを含むissueの削除が可能になりました。
60111	5.2.3.2	追加および編集	複数値を持つユーザ・フィールドを編集画面に表示したときのエラーが修正されました。	USERタイプ・フィールドに複数の値/ユーザが指定されているissueを編集すると、“Error rendering form: see log for details. [null]”というメッセージが表示され、NullPointerExceptionエラーがログに記録されていました。動作設定が以下のように設定された場合にのみ、この現象が発生しました。 USERNAME_DISPLAY = ID USER_LIST_DISPLAY = POPUP このバグは修正されました。
60207	5.2.2	追加および編集	リピーティング行の日付UDFの値が、データ内の適切な列に固定的に表示されませんでした。	これは、非常にまれな一続きのイベントの後にのみ発生する、非常に不明瞭な問題でした。結果として、日付の値が1つのリピーティング行レコードから別のリピーティング行レコードに移動することがありました。この問題は修正されました。
60438	5.2.3	追加および編集	5.2.3へのアップグレードにおいて、検索画面上のモジュール・リストのソート順がアルファベット順に並べられていませんでした。	これは5.2.3で導入されたバグでした。現在は修正されています。
37951	5.0	管理	ビジネス・エリアまたはプロジェクトのタイトルにおけるアンパーサンドが正しくレンダリングされませんでした。	本件は修正されました。
58600	5.2.1	管理	画面およびレポート・レイアウトのエディタにおいて、EV_REPORT_SELECTIONフィールドの表示に問題がありました。	このフィールドに非常に長いタイトルが付けられていると、画面上にレイアウト・エディタにおける当該フィールド用の領域が不足していました。フィールドのタイトルをかなり短くすることにより、この問題は修正されました。
58657	5.0.2.4	管理	複数のプロジェクトが異なるビジネス・エリア間で同じタイトルを持っている場合に紛らわしい情報が表示されていました。	これは、複製であるプロジェクトのタイトルではなく内部IDが表示された場合に起こる軽微な問題でした。このバグは、複数のプロジェクトに同じ名前が付けられているというまれな状況下で、「ビジネス・エリアのタイトル. プロジェクトのタイトル」のように表示されるように修正されました。
59329	5.2.3.2	管理	ユーザ・パスワードをただちに無効にするためのチェックボックスが機能しませんでした。	本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
60426	5.2.3.2	管理	USER_SELF_REGISTRATIONは、新しいユーザのビジネス・エリアとプロジェクトを設定するために管理者の介入を必要としました。	USER_SELF_REGISTRATION機能の処理は、自己登録されたユーザにはADMINユーザ・アカウントのデフォルトのビジネス・エリアとプロジェクトが与えられるように変更されました。これにより、新しいユーザを管理者が検証する必要がなくなり、自己登録の処理が簡略化されました。
56714	5.2.2	許容値	クエリ・ページの許容値は画面が更新されるまで反映されませんでした。	本件は修正されました。
58519	5.2.3.1	許容値	レポート作成画面から要約/標準画面に戻ると、許容値リストのフィルタリングが失われていました。	これは不明瞭な問題でしたが修正されました。この問題は、フィルタの相違に気づいたユーザがレポートでフィルタを再設定するため、ほとんど影響がありませんでした。
62250	6.0	許容値	許容値の関係が存在するリスト値を削除したとき、変更がすぐに可視になりませんでした。	許容値リストに関連付けられたリスト内の値が削除されたとき、その値はサーバが再起動されるまでユーザ・インタフェースでは可視のままでした。 これはJavaScriptのキャッシュに関する問題であることが判明し、修正されました。
60887	5.2.3.2	添付ファイル	添付ファイルのメタデータが複製されたissueに正しく設定されず、添付ファイルの格納にファイル・システムが使用されていました。	ファイルシステムに格納されている添付ファイルを持つ項目を複製したとき、EXTERNAL_IDENTデータベースのカラムに元の項目からの値が書き込まれませんでした。これにより、内容が見つからないことが原因で添付ファイルが参照できなくなっていました。 本件は修正されました。
56810	5.2.3	データベース	ラジオ・ボタンをエイリアス関係の親または子にすることができませんでした。	これは、他のあらゆるリスト・タイプのフィールドと同様に機能するように実装されました。
58599	5.2	データベース	バージョン4.0以前で生成された古いレポートには、ホームページ・レポートからのリンクが生成されませんでした。	4.0.xのレベルから最新バージョンのコードに直接更新したサイトでは、レポートをユーザのホームページから参照できませんでした。本件は修正されました。
56315	5.1	一般的なコードの問題	LDAPが有効であるとき、Guestロールのユーザが担当者および所有者のフィールドに書き込まれていました。	これらのユーザは適当なライセンスを持っていないければプロセスの一部となるべきではありませんが、これらのフィールドにさらにエントリが追加されていました。
60098	5.2.3	関係者リスト	ユーザIDにダッシュが含まれていると、関係者リストからユーザを削除できませんでした。	現在は修正されました。
56369	5.2.2	国際化	英語以外のロケールで、日付形式が不適切に24時間形式で表示されていました。	本件は修正されました。
59357	5.2.3.1	国際化	フランス語（カナダ）で、日付形式が不適切に表示されていました。	本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
56313	5.2	LDAP	LDAP_USER_LOOKUP=YES、USER_LIST_DISPLAY=LISTのとき、ヌル・ポインタが表示されていました。	LDAP_USER_LOOKUP=YESかつUSER_LIST_DISPLAY=LISTのとき、クエリ・ページに次のエラー・メッセージが生成され、ユーザ・フィールドが正しくレンダリングされませんでした。 Error rendering form: see log for details.null このエラーは、USER_LIST_DISPLAY=POPOPの場合には発生しませんでした。 このバグは修正されました。
57246	5.2.2	一括更新	一括更新によりユーザのセッション期限が切れることがありました。	これはバグであり、本件は修正されました。
59349	5.2.3	Perforce統合	PERFORCEのエラー・ログ・メッセージが不適切でした。	EVP4Dインストール中に、エラー処理の特定の部分に誤りがありました。PERFORCEデーモンの起動を試みた後、evidがExtraViewに存在しないというエラー・メッセージが出力されていました。evidがPERFORCEのジョブ仕様に追加されなかったことが問題であるため、evidがPERFORCEに存在しないというエラー・メッセージにするべきでした。 メッセージは現在、“evid does not exist in Perforce.”になっています。
59684	5.2.2.2	Perforce統合	P4のディレクトリ名に空白文字があると問題が発生していました。	空白を含むPERFORCEファイルおよびディポ・パスがサポートされるようになりました。これはPERFORCEのp4packageコードのバグでした。
62816	5.2.3.3	Perforce統合	Perforce統合により、ログに“java.io.EOFException: Premature EOF encountered”というエラーが出力されました。	トランザクションが処理されたとき、例外がログに表示されていました。これは更新処理には影響しませんでした。エラーは捕捉され、表示されなくなりました。
52422	5.2	パフォーマンス	大きい許容値リストのソート処理が高速化されました。	パフォーマンスを改善し、許容値リストの生成をすべてのユーザに対して速くしました。
57589	5.2.3	ルール・エンジン	ユーザの個人用の日付形式にタイムスタンプが含まれていた場合、ルールの+=演算子がSYSDAYで機能しませんでした。	本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
57983	5. 2. 3	ルール・エンジン	ルールがラジオ・ボタンに対して機能しませんでした。	ラジオボタンでは、ユーザが既に選択された値をクリックしたときに<=> refresh =>ルールが起動されないように少し特別な処理を行っています。この場合、以下のように2つのHTML_MODIFIERによる形式を使用します。 onclick = blur('p_my_field_name'); onchange = submitChange('p_my_field_name'); ただし、ユーザがラジオボタンの値をクリックしたときにルールが起動されたかを確認しなくてよい場合、以下のようにより簡単な1つのラジオボタンの形式になります。 onclick = submitChange('p_my_field_name');
48764	5. 0. 2. 5	クエリ/レポート	FILTER_CHILD_VALUESにより java.lang.reflect.InvocationTargetExceptionが発生していました。	このバグの原因は、動作設定FILTER_CHILD_VALUESの値が不適切な状態で、検索画面レイアウトでFILTER_CHILD_VALUESを使用していたことです。このバグは修正されました。検索レイアウトでFILTER_CHILD_VALUESを使用するには、動作設定のFILTER_CHILD_VALUESをUSERに設定する必要があります。管理 --> システム制御 --> すべての動作設定に進み、FILTER_CHILD_VALUESを探します。これがNOに設定されていればInvocationTargetExceptionが出力され、YESであれば常に子値でフィルタリングが行われ、USERであればチェックボックスでの指示が反映されます。
50811	5. 2	クエリ/レポート	カスタム・レポートにドリルダウン・リンクを追加する際のOracleの例外が修正されました。	これは、カスタム・レポートがIDフィールドのドリルダウンにより作成された場合に発生する、まれな現象でした。現在では修正されています。
52740	5. 1. 3	クエリ/レポート	非常に大きいレポートでは、レコードが全件は返されませんでした。	LIMIT_QUERY_ROWSの値にかかわらず、ExtraViewはクエリで1万件を超える行を返しませんでした。この原因は、コードの1箇所でLIMIT_QUERY_ROWSのデフォルト値を単に意図して10000という値をハードコードしていたためです。
54168	5. 2. 1	クエリ/レポート	詳細クエリで予期されたissueが返されませんでした。	これは、クエリが解析される際に「内にはない」(not in)演算子が正しく処理されていないことが原因でした。現在では修正されています。
56650	5. 2. 2	クエリ/レポート	保存されたサマリ・レポートで、正しいissueにドリルダウンできない場合があります。	これはサマリ・レポートに配置されるフィールドに依存して、まれに発生していたバグでした。本件は修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
56651	5.2.1	クエリ/レポート	フィールド・タイトルの終端から英数字以外の文字が切り捨てられました。	ある顧客が、外部のドキュメントからタイトルをフィールドに貼り付けてUDFフィールドを作成しました。これにより、タイトルの終端のタブ文字がタイトルの一部になりました。ユーザがこのフィールドを含むレポートを準備し、そのレポートをMicrosoft Excelにエクスポートするまでこのフィールドは無害でしたが、タブ文字が原因でExcelのスプレッドシートにおいてデータの配置がずれていました。
57994	5.2.3	クエリ/レポート	MINIMUM_SEARCH_FIELDSの値にかかわらず、検索画面において、より多くのフィルタが必要であるとの警告メッセージが出力されていました。	これはユーザが選択した最初のフィルタがKEYWORDであった場合にのみ発生しました。このバグは修正されました。
58529	5.2.2.2	クエリ/レポート	クエリ・フィルタとして、「作成されてからの経過日数」(DATE_CREATED_SINCE)に「と等しい」オペレータを指定し、「および」接続詞を設定すると、クエリが誤った結果を返していました。	このフィルタ条件は期待される結果を返しませんでした。現在では修正されています。
58939	5.2.3	クエリ/レポート	拡張されたグループ見出しを持つカラム・レポートで、カラムの小計がすべて正しく表示されてはいませんでした。	これは、ユーザが最初のソート済みフィールドを拡張せずに2番目、3番目または4番目のソート・フィールドを拡張していた場合に発生していました。このような用法は無効であるため、順序を誤ったソート・フィールドの拡張を許容せずに最初のフィールドから開始するようにプログラムを変更しました。
60004	5.2.3	クエリ/レポート	リピーティング行のレポートにおいてカラムをunion接続詞でフィルタリングすると、そのカラムが表示されませんでした。	このような状況は非常にまれですが、現在では正しく機能しています。
62463	6.0	クエリ/レポート	ホームページ・レポートでFILTER_CHILD_VALUES動作設定が反映されていませんでした。	本件はバグであり、修正されました。
51296	5.2.3	ユーザ・カスタム	電子メール形式で、info形式の電子メールアドレスがチェックされていませんでした。	.comや.netなどの3文字の接尾語のみがチェックされていました。
60614	5.2.3.3	ユーザ・カスタム	新しいJavaScriptメソッドにより、追加/編集画面用に別の印刷方法が定義可能になりました。	新しい任意指定のUserJavaScript.jsメソッドとして、printAddEditPage()が追加されました。これは追加および編集の画面でのみ起動されます。ユーザがExtraViewメニューバーから[ページを印刷]ボタンを押したとき、このメソッドのコードにより、ブラウザで 사용되는標準のwindow.print()メソッドの代替機能を提供できます。標準機能では画面が適切な形式で出力されないことが多いため、この方法は標準のブラウザ機能に代わる1つの手段として提供されています。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
48085	5.1	Zapatec	Html エリア・フィールドにJavaScriptを配置することができませんでした。	ユーザがページに悪質なスクリプトを取り込まないようにするため、故意にこのように実装されていました。 サインオン・メッセージの表示に使用されるHtmlエリアに対する規制を緩和し、管理者にのみ当該フィールドの編集を許可しています。
56725	5.2.1	Zapatec	フランス語（カナダ）のロケールの使用時、日付が無効であると表示されることがありました。	本件は修正され、現在ではすべての日付に対して正しく動作するようになっています。
58235	5.2.2	追加および編集	フィールド名がRELEASE_で始まるフィールドの必須属性が無視されていました。	“RELEASE_”という文字で始まるユーザ定義フィールドが作成されると、そのフィールドを必須にすることができませんでした。プログラムではこのような状況で特殊な処理を行い、この文字列を含むすべてのフィールドがリピーティング行フィールドであるとみなしていました。このバグは修正されました。
63281	5.2.3.5	追加および編集	“Validate Hidden”レイアウト・セル属性がすべてのレイアウトで確実に動作していませんでした。	この現象は、タブの中にSELECTEDレイアウトの組み合わせがあり、選択されたレイアウト自体に組み込みレイアウトが含まれている場合に起きていました。この状況では、VALIDATE HIDDEN属性が認識されていませんでした。現在では修正されています。
63945	6.0	許容値	許容値に対してAjax Refreshが有効である場合に、画面の更新が発生していました。	この問題は、祖父、親、子、孫のように多くの許容値の関係が連鎖する場合に発生していました。この問題は修正されました。
62528	5.0.2.4	インポートおよびエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティでは1レコードに対し、文書化されている300フィールドではなく、60フィールドしかインポートしませんでした。	これは単純なバグであり、修正されました。ファイル・インポート・ユーティリティでは現在、1レコードに対し300フィールドまでサポートしています。
64662	5.2.1	関係者リスト	Status=Closedである場合、issueの関係者リストのメンバーがメール通知を受信しませんでした。	以前は、クローズされたissueには通知を送信しない仕様になっていました。この仕様は、関係者リストのメンバーがクローズ済みのissueに関するメールを受信できるように変更されました。
63642	6.0	レイアウト・エディタ	組み込みレイアウトの関連レコード表示において、タイトルが適切にレンダリングされていませんでした。	このバグは、関連issueの表示レイアウトが別の組み込みレイアウト内にレンダリングされる場合にのみ影響しました。フィールドのタイトルにHTMLタグが含まれており、それが画面上に表示されていました。このバグは修正されました。
60924	5.2.3.2	レイアウト・レンダリング	プロジェクト内の組み込みレイアウトは、正しいプロジェクト固有のレイアウトをロードせず、デフォルト・レイアウトに戻っていました。	この原因は、レイアウトに関連付けられた「選択済みの」データ辞書名がないために適切なレイアウトを選択できないロジックにありました。従来は、サブレイアウトを定義できる方法は1つしかありませんでした。現在では、データ辞書名は組み込みレイアウトを選択するための唯一の評価基準ではないと思われます。これが正しく動作するように、ロジックが調整されました。
63820	6.0	レイアウト・レンダリング	関連するIssueの表示レイアウトで代替タイトルが使用されていると、HTMLタグが表示されました。	これは単純な外観上のバグで、修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
60884	5.2.3.2	通知	アドホック電子メール・タグの\$\$DESCRIPTION\$\$は、 \$\$COMMENT\$\$を3つ以上入力した後で断絶していました。	アドホック電子メール・テンプレートに3つ以上のコメントが入力されると、それ以上のコメントは出力に確認されませんでした。このバグは、すべてのコメントを表示するように修正されました。
64778	5.2.3.6	パフォーマンス	ダッシュボード・グラフが作成とドリルダウンが実行される間に短い間隔で繰り返し作成されると、次第に低速になっていました。	セッションの問題によりこの問題が起きていました。現在では修正されています。
63593	5.2.3.3	ルール・エンジン	ルール・エンジンにより生成されるメールで、AD_HOC動作設定が使用されませんでした。	ルール・コードではAD_HOC_EMAIL_FROM_SENDERおよびAD_HOC_EMAIL_FROM_ADDRESSではなく、EMAIL_ADMINISTRATOR_NAMEおよびEMAIL_ADMINISTRATOR_USER_IDを使用してメールが送信されていました。このバグは修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
				<p>とき、正しく動作しませんでした。例えば、このようなリンク・ルールを設定するとします。</p> <pre><= link crLink => AREA="CR's", ID=CR_PARENT_ID</pre> <p>そして、以下のようにLoadルールとRefreshルールを設定します。</p> <pre><= load => ## Loadルールのリンク if (AREA="CR's" && PROJECT="BASELINE" && SCREEN_NAME="EDIT") { SHORT_DESCR=(crLink).SHORT_DESCR; } <= refresh => ## Refreshルールのリンク if (CR_SHOW_PARENT='Y') { PRIORITY =(crLink).PRIORITY; CR_AREA =(crLink).CR_AREA; CR_SUBSYSTEM =(crLink).CR_SUBSYSTEM; PRODUCT_NAME =(crLink).PRODUCT_NAME; CATEGORY =(crLink).CATEGORY; ASSIGNED_TO =(crLink).ASSIGNED_TO; CR_RESOLUTION =(crLink).CR_RESOLUTION; }</pre>
63671	6.0	ルール・エンジン	<= Link => ビジネス・ルールがすべての状況下では機能しませんでした。	BASELINEプロジェクト・レコードの編集画面レイアウトを表示すると、SHORT_DESCRフィールドの値が親のCR issueから得た当該
64914	5.2.3.5	ルール・エンジン	MAIL: アクションではissueの最初のリピーティング行にのみメールを送信していました。	これはバグであり、修正されました。
65457	5.0	レイアウト・レンダリング	ADMINユーザ・アカウントでクエリ・ページにアクセスできませんでした。	これはサポートされる操作ではありませんが (ADMINアカウントはクエリやissueの入力/更新に使用すべきではない)、このバグは修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
65179	6.0	API & CLI	CLIのevsearchコマンドにより java.lang.NullPointerExceptionが返されていました。	<pre>./evsearch -n -l 999999 -r "updated start date"="06/01/2008" q</pre> のようなコマンドが入力されたとき、例外が発生していました。この原因は、6.0のコード・ブランチにおいて、リピーティング行フィールドにさらなるチェックを追加していたためでした。クエリでRANGEフィールドにリピーティング行のチェックを行わないようにすることで、これを修正しました。
65030	5.2.3.2	通知	API経由で同じissueに対して複数の高速な連続した更新を行うと、誤った通知が生成されていました。	メール通知は主要コードより低い優先度で、別のスレッドで処理されます。通知処理では常に最後の更新とその1つ前の更新とを調べ、レコードの相違を診断して、レコードの変更箇所を特定していました。非常に短い間隔で複数の更新を行った場合、レコードは既に変更されているため、メール通知に誤った結果が示されました。メール・プログラムで常に適切な更新を検出して通知の生成を行うようにすることで、これを修正しました。
65219	5.2.3	パフォーマンス	MODULE_IDとUDFによる許容値の組み合わせは、管理ユーティリティでの表示が遅くなっていました。	この組み合わせを表示するクエリが改善され、許容値の画面での結果表示にかかる時間が約半分になりました。
65463	6.0.1	ルール・エンジン	負の数による日数計算で、誤った値がユーザ・カスタム・イグジットに渡されていました。	これは単純なコーディング・エラーで、影響を受けた顧客サイトはありませんでした。この問題は修正されました。
66042	5.2.3.2	ルール・エンジン	動作設定USER_LIST_DISPLAYがPOPUPに設定されていると、Refreshルールが起動しませんでした。	これはバグで、修正されました。
57994	5.2.3	クエリ/レポート	MINIMUM_SEARCH_FIELDSの値とは無関係に、さらに多くのフィルタが必要であるとの警告メッセージがクエリ画面で表示されていました。	これはユーザが選択した最初のフィルタがKEYWORDであった場合にのみ発生しました。このバグは修正されました。
65394	6.0.1	クエリ/レポート	詳細レポートをExcelにエクスポートしたとき、誤ったレイアウトが使用されていました。	詳細レポートでデータをExcelにエクスポートすると、エクスポートされるissueに固有のレイアウトではなく、常にデフォルトのレイアウトが使用されていました。このバグは修正されました。
65467	6.0.1	クエリ/レポート	階層レポートのExcel出力で、レポート上に親レコードと子レコードが分かれてレンダリングされる場合に、フィールドが連結されていました。	Excel出力に限り、親レコードの最後のフィールドと子レコードの最初のフィールドが連結されていました。これはバグで、修正されました。
65511	5.2.3.5	クエリ/レポート	リピーティング・レコードのテキスト・エリア表示タイプは、詳細レポートに出力される場合に、表示されるissueごとに固有ではありませんでした。	このような構成はまれですが、テキスト・エリア表示タイプがリピーティング行に配置されている場合、レコードが詳細レポートに出力されると、フィールドの値がリピーティング行ごとに繰り返されていました。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
66181	6.0.1	クエリ/レポート	レポートがIEブラウザでは崩れ、Firefoxブラウザの出力ではカラムが1つ欠落していました。	この問題は、階層レポートで出力に特定の組み合わせのフィールドが含まれる場合にのみ発生しており、レポート・フィールドがEditボタンのすぐ下に出力されていました。Editボタンは階層レポートではスキップされますが、その下のフィールドがIEでは正しくレンダリングされず、Firefoxブラウザでは位置がずれていました。このバグは修正されました。
67840	6.0.2	追加および編集	エリアが読み取り専用であるとき、編集画面上の誤った場所にプロジェクト・タブがレンダリングされていました。	これは単に外観上の問題で、エリア・フィールドが読み書き可能であるか読み取り専用であるかに従って、プロジェクトが画面上の同じ場所にレンダリングされませんでした。このバグは修正されました。
66456	6.0	許容値	許容値の機能で明示的にResultSetをクローズしていなかったため、Oracleがカーソルを使い果たしていました。	統合プログラムのストレステストにおいて、短期間にExtraViewを数千回呼び出すと、Oracleがカーソルを使い果たしていました。これはOracle 10gでのみ発生する問題であり、このバージョンでOracleのリソース割り当てのアルゴリズムが変更されたため、この処理に旧バージョンよりもはるかに長い間がかかっていた。Oracle 9iはそのような動作を示しませんでした。Oracleによる処理に依存せずに、ExtraViewの側でresult文を使用するたびに明示的にクローズすることにより、この問題は修正されました。
67170	6.0	レイアウト・レンダリング	ExtraViewはフィールドがレイアウト上に存在しないにもかかわらず、そのフィールドが必須であり、未入力であると表示していました。	この現象は、必須フィールドが以下のようにサブレイアウトに構成されたときに発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> - テキスト・フィールド（あるいは他の任意のタイプ）を作成し、それをサブレイアウトに配置する - そのサブレイアウトを追加/編集のページに配置する - フィールドを必須にする - そのフィールドにVISIBLE_IF属性を追加する サブレイアウトを可視にすることなく、フィールドの可視属性をオンにせずにissueを更新すると、そのissueは更新可能であるべきなのにもかかわらず、プログラムはフィールドが必須であるとユーザに知らせていました。この問題は解決されました。
65027	6.0	通知	プレーンテキストによるメール通知が、変更の識別方法によって一貫していませんでした。	これは、issueが更新された状況によってデータベース・トリガがタイムスタンプをどのように設定するかに関わる問題で、issueからUDF値が削除された場合にのみ発生しました。プログラムではこの処理のタイムスタンプに誤った精度を使用しており、変更を通知から一貫して収集することができませんでした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
66701	6.0.1	クエリ/レポート	関連issue情報がPDF/Microsoft Wordの詳細レポートにレンダリングされませんでした。	関連issueレイアウトは、PDFおよびMicrosoft Wordのレポートで正しくレンダリングされるようになりました。
67290	6.0.1	クエリ/レポート	階層レポートでは、すべてのカラムの情報がExcelスプレッドシートにエクスポートされませんでした。	階層構造のカラム・レポートにおいて、テキストエリア・フィールドが出力に含まれている場合、レポートをExcelに送ると、テキストエリア・フィールドが空白になるか重複していました。これはテキストエリア・フィールドにのみ影響していましたが、修正されました。
67386	6.0.1	クエリ/レポート	Excelレポート: テキストエリア・フィールドでフォーマットが失われていました。	これは比較的あいまいな問題で、ExtraViewのバグというよりもExcelの問題といえるものでした。ExtraViewから作成されるスプレッドシートにダブルバイト文字(中国語など)が含まれている場合、ユーザのMS-OFFICE文字セットの個人設定はwindows1250に設定すべきでなく、UTF-16LEに設定すべきです。
67658	5.2.3.5	クエリ/レポート	マトリクス・レポートが正しいドリルダウン・レポートを生成しませんでした。	マトリクス・レポートで、それが準備されるべき条件を選択するために拡張フィルタが使用される場合に、このバグが発生しました。拡張フィルタの使用時、ドリルダウンへのリンクが正しく形成されていませんでした。このバグは修正されました。
69559	6.0.3	追加および編集	編集画面の読み取り専用のログエリア・フィールドがテキストではなくHTMLでレンダリングされていました。	これは退行バグであり、リリース6.0までは正しく動作していました。これは単に外観上の問題で、読み取り専用のログエリア・フィールド内のテキストがHTMLで囲まれて表示されていました。これは非常にまれな構成で、以前はテストケースの対象に含まれていませんでした。この問題は修正されました。
69504	6.0.3	許容値	グローバル・エリアと他のビジネス・エリアの両方で定義されている場合、許容値が正しく表示されませんでした。	この現象は画面の更新後にシステム上で確認され、以前は存在しなかった値がリストに現れていました。この原因は、許容値が2つの場所(グローバル・エリアと特定のビジネス・エリア)で定義されていたためでした。この場合、子値のリストに正しくデータが書き込まれないことがありました。このバグは修正されました。
63569	6.0.2	通知	関連issueレイアウトが電子メール通知にレンダリングされませんでした。	現在は、RELATED_ISSUE_DISPLAYが通知レイアウトに配置されている場合、電子メール通知に関連issue表示が含まれるように実装されています。
65019	6.0	ルール・エンジン	リンクにおいて、それより前(<)またはそれより後(>)という日付の条件を実行できませんでした。	日付フィールドのテストにおいて、Linkビジネス・ルールで<演算子および>演算子を使用できませんでした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
67755	5.2.3	ルール・エンジン	フィールド値がヌルであった場合、ルールのUPDATE関数がフィールドを更新しませんでした。	<p>これは修正済みのバグですが、以下のルールの例に示すとおり、更新前に条件をテストするための簡単な対応策がありました。</p> <pre><== refresh ==> ## 関連issueのステータス変更のテスト if (AREA=' Bugs' && REL_SCHED_TEXT. {changed} && REL_SCHED_TEXT. {is not null}) { {UPDATE: HelpdeskLink, REL_SCHED_TEXT}; } if (AREA=' Bugs' && REL_SCHED_TEXT. {changed} && REL_SCHED_TEXT. {is null}) { {UPDATE: HelpdeskLink, REL_SCHED_TEXT = ". " }; } <== preupdate ==> if (REL_SCHED_TEXT='.') { REL_SCHED_TEXT=''; } <== link HelpdeskLink ==> AREA=' Helpdesk', MY_PARENT_ID = ID</pre>
68851	6.0.3.2	ルール・エンジン	複数値のユーザ・フィールドの変更時、UPDATEビジネス・ルールは、例外がログに出力されて失敗していました。	この現象はルールの実行の約半数で発生しました。複数値をもつユーザ・フィールドのみが影響を受け、リストで3人以上のユーザが選択された場合にのみ起こりました。この問題は修正されました。
64403	5.2.3.6	APIおよびCLI	レコードが関係グループの一部である場合、evdeleteではレコードが削除されませんでした。	これはバグでしたが修正されました。関係グループの一部となっているissueに削除コマンドが使用されると、そのレコードが削除されます。
65179	6.0	APIおよびCLI	CLIのevsearchコマンドによりjava.lang.NullPointerExceptionが返されていました。	<pre>./evsearch -n -l 999999 -r "updated start date"="06/01/2008" q</pre> <p>のようなコマンドが入力されたとき、例外が発生していました。この原因は、6.0のコード・ブランチにおいて、リピーティング行フィールドにさらなるチェックを追加していたためでした。クエリでRANGEフィールドにリピーティング行のチェックを行わないようにすることで、これを修正しました。</p>
69846	5.2.3	APIおよびCLI	日本語のファイル名を持つ添付ファイルを含むメッセージに対し、evmailが失敗していました。	漢字またはその他のダブルバイト文字セットからの文字を含むメールの添付ファイルをevmail経由で使用できるように、このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
58235	5.2.2	追加および編集	フィールド名がRELEASE_で始まるフィールドの必須属性が無視されていました。	"RELEASE_"という文字で始まるユーザ定義フィールドが作成されると、そのフィールドを必須にすることができませんでした。プログラムではこのような状況で特殊な処理を行い、この文字列を含むすべてのフィールドがリピーティング行フィールドであるとみなしていました。このバグは修正されました。
60825	5.2.3.1	追加および編集	フィールド更新時における、RELEASE_ASSIGNED_TOフィールドの前の値に対するメール通知	以前は、RELEASE_ASSIGNED_TOフィールドの値が変更されたとき、旧担当者に電子メール通知が送られていませんでした。新旧の担当者が両方とも通知を受け取るように、この動作は修正されました。
63281	5.2.3.5	追加および編集	"Validate Hidden"レイアウト・セル属性がすべてのレイアウトで確実に動作していませんでした。	この現象は、タブの中にSELECTEDレイアウトの組み合わせがあり、選択されたレイアウト自体に組み込みレイアウトが含まれている場合に起きていました。この状況では、VALIDATE_HIDDEN属性が認識されていませんでした。現在では修正されています。
67840	6.0.2	追加および編集	エリアが読み取り専用であるとき、編集画面上の誤った場所にプロジェクト・タブがレンダリングされていました。	これは単に外観上の問題で、エリア・フィールドが読み書き可能であるか読み取り専用であるかに従って、プロジェクトが画面上の同じ場所にレンダリングされませんでした。このバグは修正されました。
68199	6.0	追加および編集	編集画面上の関連issueの表示におけるQuickeditでは、十分な大きさの表示領域が提供されないことがありました。	関連issueの表示は、大きさが固定されていました。縦方向の大きさがやや小さく、関連issueの表示画面にQuickeditボタンがあると、Quickeditセッション全体を表示するには表示領域が十分ではないことがありました。現在ではユーザに常に編集対象のレコード全体が表示されるように、Quickeditボタンが押された場合には関連issueの表示サイズが変更されます。
69478	6.1	追加および編集	有効なユーザに対して、ユーザ詳細がポップアップに表示されませんでした。	この現象は、ユーザの詳細情報への「URLとして表示」ドリルダウンがあり、フィールドがリストではなくポップアップである場合に、追加または編集の画面で発生しました。ユーザがポップアップ・リストからユーザ名を選択する代わりにポップアップのテキスト・フィールドに名前を入力すると、「URLとして表示」に名前が渡されませんでした。このバグは修正されました。
69559	6.0.3	追加および編集	編集画面の読み取り専用のログエリア・フィールドがテキストではなくHTMLでレンダリングされていました。	これは退行バグであり、リリース6.0までは正しく動作していました。これは単に外観上の問題で、読み取り専用のログエリア・フィールド内のテキストがHTMLで囲まれて表示されていました。これは非常にまれな構成で、以前はテストケースの対象に含まれていませんでした。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
71717	6.0.3	追加および編集	6.1の追加/編集におけるレンダリングの問題	バージョン6.1では、追加画面と編集画面のレイアウトでAjaxを利用することにより、サーバ・ベースの許容値かビジネス・ルールかvisible ifなどのセル属性によってトリガが起動されるか、または組み込みレイアウトが可視になった場合の画面更新をなくしました。これによりユーザ・インタフェースのパフォーマンスが大幅に改善されています。しかし、Internet Explorerでは、バージョン6.1より前に生成された既存のレイアウトとの互換性の問題がある可能性があります。これは、当該レイアウトの画面での表示幅が大き過ぎるという現象で現れます。この問題は以下の場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"> - Internet Explorerを使用している - 組み込みレイアウトがある（多くの場合、SELECTEDメカニズムを使用している） - 組み込みレイアウトのフィールド構成において、colspanが1より大きいフィールドが1つ以上のカラムにある - 連続する列にあるフィールドのcolspanがすべて同じである 解決策は、2以上に設定する必要のないすべてのフィールドのcolspanを1に減らすことです。
74307	6.0.4	追加および編集	デフォルト値に非英字が含まれていると、HTMLはテキスト・デフォルト値の中に表示されていました。	デフォルト値のエントリは二重にエスケープされていたため、値の中の引用符などの文字は対応する10進数として表示されていました。
75945	6.0.4	追加および編集	Safariにおける関係グループに関する互換性の問題	追加/編集画面内に組み込まれている関係グループがApple Safariブラウザでは表示されませんでした。このバグは修正されました。
66182	5.2.3.5	管理	サーバ再起動後にエンドユーザのアクセスを再度有効にする処理での問題	これはクラスタ化された環境で発生していました。一部のアプリケーション・サーバでは、エンドユーザのアクセスの有効化がいずれかのノードで正しく検出されていませんでした。このバグは修正されました。
70412	6.0.3	管理	別名を持つフィールドからはUDFリスト値を削除できませんでした。	このバグは修正され、削除しようとしている特定のフィールド値に対する値がフィールドとすべての別名フィールドに格納されていない限り、フィールド値が削除できるようになりました。1つ以上のフィールド値が、1つ以上のissueに格納されている値を持っている場合、エラーが生成され、ユーザに表示されます。
73329	6.0.3	管理	十分な権限のない管理者がグローバル・エリア内のビジネス・ルールを参照および変更することが可能でした。	これは一般的な構成ではありませんが、管理者ロールが構成され、グローバル・エリアへのアクセス権限を与えられていない場合でも、グローバル・エリア内のビジネス・ルールを参照および変更することが可能でした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
56339	5.2.2	許容値	親フィールドがMODULE_IDであった場合、USE_ALLOWED_VALUE_SORT_ORDERがユーザ・リストに適用されませんでした。	以前、ユーザ・リストは許容値のソート順を使用するのではなくアルファベット順にソートされていました。現在は、USE_ALLOWED_VALUE_SORT_ORDERがYESに設定されている場合、定義されたソート順に従います。
62501	5.2.1	許容値	許容値がユーザ・カスタム・コードによってさらに操作されている場合のパフォーマンスの問題	許容値の特定の組み合わせでは、ExtraViewがユーザ・カスタム・コードの処理に長い時間を要することがありました。この特定の組み合わせに対する許容値を検索するSQLを改善し、パフォーマンスの問題を解決しました。
63484	6.0	許容値	許容値フィールドの親を切り換えたとき、「無効な値」を示すエラーがポップアップ表示されていました。	これはレイアウトに親フィールドとそれに対応する子フィールドがあり、子フィールドが Remove * None * 属性を持つ場合に起こりました。親フィールドから値が選択されると、子フィールドは空白から許容値に変わります。この状況では、子が1つしかないため、それが表示されました。しかし、新しい親を選択すると、その値が子フィールドに対して無効であるとのエラーが発生しました。 エラー・メッセージは表示更新時に無効にされましたが、レコードがデータベースから取得される場合は、新しいメタデータ構成によってエラーのトリガが正しく起動されるように、依然として表示されます。
63835	6.0	許容値	追加のリスト値が親の複数値リスト・フィールドから選択された場合には、許容値フィールドの表示を更新しても複数値リストで選択された子値が強調表示されませんでした。	これは許容値の構成として一般的ではない特殊な用法でした。現在では親と子の選択は正しく動作しています。
63945	6.0	許容値	許容値に対してAjax Refreshが有効である場合に、画面の更新が発生していました。	この問題は、祖父、親、子、孫のように多くの許容値の関係が連鎖する場合に発生していました。この問題は修正されました。
65607	5.2.3	許容値	許容値の変更によりサーバ・リフレッシュが起こる場合、リフレッシュが完了する前に更新が行われると、既存のエントリが削除されていました。	サーバ・リフレッシュが未完了である間は、レコードを更新することができなくなりました。ユーザはレコードを更新する前に、最初の操作が完了するのを待機しなければなりません。
66456	6.0	許容値	許容値の機能で明示的にResultSetをクローズしていなかったため、Oracleがカーソルを使い果たしていました。	統合プログラムのストレステストにおいて、短期間にExtraViewを数千回呼び出すと、Oracleがカーソルを使い果たしていました。これはOracle 10gでのみ発生する問題であり、このバージョンでOracleのリソース割り当てのアルゴリズムが変更されたため、この処理に旧バージョンよりもはるかに長い間がかかっていました。Oracle 9iはそのような動作を示しませんでした。Oracleによる処理に依存せずに、ExtraViewの側でresult文を使用するたびに明示的にクローズすることにより、この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
67298	6.0.2	許容値	許容値の子値リストの保守ページがInternet Explorerでは不適切に表示されていました。	これはドラッグ・アンド・ドロップを使用して表示した許容値の子のリストが、画面上で縦方向に置き換えられていたという外観上の問題でした。現在では修正されています。
69504	6.0.3	許容値	グローバル・エリアと他のビジネス・エリアの両方で定義されている場合、許容値が正しく表示されませんでした。	この現象は画面の更新後にシステム上で確認され、以前は存在しなかった値がリストに現れていました。この原因は、許容値が2つの場所（グローバル・エリアと特定のビジネス・エリア）で定義されていたためでした。この場合、子値のリストに正しくデータが書き込まれないことがありました。このバグは修正されました。
71970	6.0.3	添付ファイル	添付ファイルの読み取りアクセスが無効である場合の、Firefoxブラウザにおける例外	このバグは修正されました。
74234	6.0.4	添付ファイル	すべてのユーザに対するメール通知に、添付ファイルのセクションが表示されていませんでした。	現在のコード・ブランチではこの問題は再現できませんでした。しかし、添付ファイルの処理方法に対するその他の変更がコードに取り入れられており、他の改善作業の結果、この問題は修正されたと思われます。
67586	6.0.2	BatchMail	BatchMailステータスはSTART_ON_BOOTに設定されている場合に表示されませんでした。	これは外観上の問題でしたが、修正されました。
70355	6.0.3	エスカレーション	システム設定がEMAIL_NOTIFICATION=NOである場合にも、エスカレーション・ルーチンでメール送信が起動されていました。	これはバグでしたが修正されました。
70470	6.0.3	エスカレーション	エスカレーション・ルールでは、1ルールあたり10個のissueしかエスカレートしていませんでした。	任意の数のissueが1つのエスカレーション・ルールでエスカレートされるようになりました。
61969	5.2.2.1	一般的なコード	ExtraViewをフランス語にローカライズするときの問題	ユーザが単一の引用符を単語に挿入したとき、フランス語によくみられるように、その単語が同じ単一引用符で囲まれた語句の一部になっている箇所がいくつかありました。これによってJavaScriptエラーが発生していました。コードを徹底的にチェックし、この現象が起こる可能性のあるすべての箇所をなくしました。
62528	5.0.2.4	インポートとエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティでは1レコードに対し、文書化されている300フィールドではなく、60フィールドしかインポートしませんでした。	これは単純なバグであり、修正されました。ファイル・インポート・ユーティリティでは現在、1レコードに対し300フィールドまでサポートしています。
65473	6.0	インポートとエクスポート	メタデータのインポート処理において、異常に時間がかかっていました。	処理が改良され、パフォーマンスが1桁分改善されています。
67945	6.0.2	インポートとエクスポート	メタデータ・インポート・エラー: Blobがヌルです。	この問題は、ビジネス・ルールを含むメタデータをサイトにインポートする場合に、エクスポート元サイトに存在したメタデータに含まれるビジネス・ルールのエリア/プロジェクトの組み合わせが、エクスポート先サイトには存在しないために発生していました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
72089	6.0.2	インポートとエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティでは日付フィールドを検証していませんでした。	無効な日付は無視されていましたが、エラーは出力されませんでした。このバグは修正されました。
72644	6.0.4	インポートとエクスポート	ユーザ・アクセスを無効にすると、メタデータ・インポートが正常に完了しませんでした。	エンドユーザ・アクセスを無効にすると、メタデータ・インポートが従属するスレッドが誤ってキルされていました。このバグは修正されました。
75059	6.0.4	インポートとエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティ - スペースを含むユーザ名がデータベースに挿入されませんでした。	ユーザの姓または名前に空白文字が含まれていると、ファイル・インポート・ユーティリティはこれをエラーとして処理していました。このバグは修正されました。
58878	5.2.3	関係者リスト	ユーザIDを[関係者リストへ追加]フィールドに追加すると、エラーは発生せず、メールも送信されませんでした。	これは既知のユーザIDをポップアップ・リストから選択する代わりにCCメール・フィールドに直接入力した場合に起きていました。期待される動作をサポートするよう、機能が改善されました。
64662	5.2.1	関係者リスト	Status=Closedである場合、issueの関係者リストのメンバーがメール通知を受信しませんでした。	以前は、クローズされたissueには通知を送信しない仕様になっていました。この仕様は、関係者リストのメンバーがクローズ済みのissueに関するメールを受信できるように変更されました。
68643	6.0.3	関係者リスト	[代替電子メール・アドレスに通知を受け取る]がYESに設定されていた場合に、ユーザはメールを重複して受信していました。	ユーザの電子メール・アドレスごとに1件のメールだけを受信するように、このバグは修正されました。
68092	6.0.2	LDAP	LDAPにおいてドロップダウン・ユーザ・リストを使用したとき、すべてのユーザを表示しきれませんでした。	以前は、ユーザ・リストは100件までに制限されていました。現在は、検索フィルタに一致するすべてのユーザがリストに表示されるようになりました。
63642	6.0	レイアウト・エクスポート	組み込みレイアウトの関連レコード表示において、タイトルが適切にレンダリングされていませんでした。	このバグは、関連issueの表示レイアウトが別の組み込みレイアウト内にレンダリングされる場合にのみ影響しました。フィールドのタイトルにHTMLタグが含まれており、それが画面上に表示されていました。このバグは修正されました。
60924	5.2.3.2	レイアウト・エクスポート	プロジェクト内の組み込みレイアウトは、正しいプロジェクト固有のレイアウトをロードせず、デフォルト・レイアウトに戻していました。	この原因は、レイアウトに関連付けられた「選択済みの」データ辞書名がないために適切なレイアウトを選択できないロジックにありました。従来は、サブレイアウトを定義できる方法は1つしかありませんでした。現在では、データ辞書名は組み込みレイアウトを選択するための唯一の評価基準ではないと思われます。これが正しく動作するように、ロジックが調整されました。
63454	5.2.3.6	レイアウト・エクスポート	関連issueの表示に「Visible if」属性を使用すると、エラーが表示されていました。	この現象は関連するissueがなかった場合に発生しました。このバグは修正され、エラーは発生しなくなりました。
63820	6.0	レイアウト・エクスポート	関連するissueの表示レイアウトで代替タイトルが使用されていると、HTMLタグが表示されました。	これは単純な外観上のバグで、修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
67170	6.0	レイアウト・レ	ExtraViewはフィールドがレイアウト上に存在しないにもかかわらず、そのフィールドが必須であり、未入力であると表示していました。	この現象は、必須フィールドが以下のようにサブレイアウトに構成されたときに発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> - テキスト・フィールド（あるいは他の任意のタイプ）を作成し、それをサブレイアウトに配置する - そのサブレイアウトを追加/編集のページに配置する - フィールドを必須にする - そのフィールドにVISIBLE_IF属性を追加する サブレイアウトを可視にすることなく、フィールドの可視属性をオンにせずにissueを更新すると、そのissueは更新可能であるべきなのにもかかわらず、プログラムはフィールドが必須であるとユーザに知らせていました。この問題は解決されました。
67897	6.0	レイアウト・レ	「Visible if」属性を持つフィールド(またはJavaScriptで非表示にされたフィールド)を含むサブレイアウトが、単なる空白ではなく" "としてレンダリングされていました。	これは外観上の問題であり、修正されました。
72653	6.0.3	レイアウト・レ	AV_NULL_PARENT_IS_NONEの設定によって、編集画面の電子メール通知エリアがずれて表示されていました。	これは完全に外観上の問題でしたが、AV_NULL_PARENT_IS_NONEという動作設定により、編集画面の複数のタブに子値がない状態に設定されていた場合、編集画面の通知エリアのチェックボックスが縦方向に配列されませんでした。
60884	5.2.3.2	通知	アドホック電子メール・タグの\$\$DESCRIPTION\$\$は、\$\$COMMENT\$\$を3つ以上入力した後で断絶していました。	アドホック電子メール・テンプレートに3つ以上のコメントが入力されると、それ以上のコメントは出力に確認されませんでした。このバグは、すべてのコメントを表示するように修正されました。
63569	6.0.2	通知	関連issueレイアウトが電子メール通知にレンダリングされませんでした。	現在は、RELATED_ISSUE_DISPLAYが通知レイアウトに配置されている場合、電子メール通知に関連issue表示が含まれるように実装されています。
67469	5.1	通知	リピーティング行の値が電子メール・テンプレートに表示されませんでした。	これは、このリリース以前は一度も実装されたことのない動作です。ユーザがリピーティング行に属するメール・テンプレートのフィールドにトークンを含めると、メールの出力は、リピーティング行に設定されたすべての値をカンマで区切ったリストになっていました。
62816	5.2.3.3	Perforce統合	PERFORCEとの統合により、“java.io.EOFException: Premature EOF encountered”というエラーがログに記録されていました。	トランザクションが処理されたときに例外がログに出力されました。これは更新の処理には影響しませんでした。エラーは捕捉され、表示されなくなりました。
64778	5.2.3.6	パフォーマンス	ダッシュボード・グラフが作成とドリルダウンが実行される間に短い間隔で繰り返し作成されると、次第に低速になっていました。	セッションの問題によりこの問題が起きていました。現在では修正されています。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
65219	5.2.3	パフォーマンス	MODULE_IDとUDFによる許容値の組み合わせは、管理ユーティリティでの表示が遅くなっていました。	この組み合わせを表示するクエリが改善され、許容値の画面での結果表示にかかる時間が約半分になりました。
63024	6.0	Quickedit	Quickeditの使用時、関連issueの表示において日付フィールドのピッカーが機能しませんでした。	この問題は、カレンダー・ポップアップが正しく表示されるように修正されました。
63593	5.2.3.3	ルール・エンジン	ルール・エンジンにより生成されるメールで、AD_HOC動作設定が使用されませんでした。	ルール・コードではAD_HOC_EMAIL_FROM_SENDERおよびAD_HOC_EMAIL_FROM_ADDRESSではなく、EMAIL_ADMINISTRATOR_NAMEおよびEMAIL_ADMINISTRATOR_USER_IDを使用してメールが送信されていました。このバグは修正されました。
63671	6.0	ルール・エンジン	<==Link==>ビジネス・ルールがすべての状況下では機能しませんでした。	<p><== link ==>ルールが後に <==refresh ==> ルールの対象となる とき、正しく動作しませんでした。例えば、このようなリンク・ ルールを設定するとします。</p> <pre><== link crLink ==> AREA="CR's", ID=CR_PARENT_ID</pre> <p>そして、以下のようにLoadルールとRefreshルールを設定しま す。</p> <pre><== load ==> ## Loadルールのリンク if (AREA="CR's" && PROJECT="BASELINE" && SCREEN_NAME="EDIT") { SHORT_DESCR=(crLink).SHORT_DESCR; }</pre> <pre><== refresh ==> ## Refreshルールのリンク if (CR_SHOW_PARENT='Y') { PRIORITY =(crLink).PRIORITY; CR_AREA =(crLink).CR_AREA; CR_SUBSYSTEM =(crLink).CR_SUBSYSTEM; PRODUCT_NAME =(crLink).PRODUCT_NAME; CATEGORY =(crLink).CATEGORY; ASSIGNED_TO =(crLink).ASSIGNED_TO; CR_RESOLUTION =(crLink).CR_RESOLUTION; }</pre>

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
64914	5.2.3.5	ルール・エンジン	MAIL:アクションではissueの最初のリピーティング行にのみメールを送信していました。	これはバグで、修正されました。
65019	6.0	ルール・エンジン	リンクにおいて、それより前(<)またはそれより後(>)という日付の条件を実行できませんでした。	日付フィールドのテストにおいて、Linkビジネス・ルールで<演算子および>演算子を使用できませんでした。このバグは修正されました。
65463	6.0.1	ルール・エンジン	負の数による日数計算で、誤った値がユーザ・カスタム・イグジットに渡されていました。	これは単純なコーディング・エラーで、影響を受けた顧客サイトはありませんでした。この問題は修正されました。
66042	5.2.3.2	ルール・エンジン	動作設定USER_LIST_DISPLAYがPOPUPに設定されていると、Refreshルールが起動しませんでした。	これはバグで、修正されました。
67755	5.2.3	ルール・エンジン	フィールド値がヌルであった場合、ルールのUPDATE関数がフィールドを更新しませんでした。	これは修正済みのバグですが、以下のルールの例に示すとおり、更新前に条件をテストするための簡単な対応策がありました。 <pre><== refresh ==> ## 関連issueのステータス変更のテスト if (AREA=' Bugs' && REL_SCHED_TEXT. {changed} && REL_SCHED_TEXT. {is not null}) { {UPDATE: HelpdeskLink, REL_SCHED_TEXT}; } if (AREA=' Bugs' && REL_SCHED_TEXT. {changed} && REL_SCHED_TEXT. {is null}) { {UPDATE: HelpdeskLink, REL_SCHED_TEXT = "." }; } <== preupdate ==> if (REL_SCHED_TEXT='.') { REL_SCHED_TEXT=''; } <== link HelpdeskLink ==> AREA=' Helpdesk', MY_PARENT_ID = ID</pre>
68851	6.0.3.2	ルール・エンジン	複数値のユーザ・フィールドの変更時、UPDATEビジネス・ルールは、例外がログに出力されて失敗していました。	この現象はルールの実行の約半数で発生しました。複数値をもつユーザ・フィールドのみが影響を受け、リストで3人以上のユーザが選択された場合にのみ起こりました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
74600	6.0.4	ルール・エンジン	電子メール・ルール - []の使用において、構文が他のルールと整合していませんでした。	電子メール・ルールでは、式において中括弧を使用する場合、 <pre><= email ==> if (AREA=' Bugs') { ROLE: ADMIN; ROLE: DEV_ENGINEER; }</pre> の形式が強制されていなかったため、構文が他のすべてのディレクティブのルールと整合していませんでした。電子メール・ルールのルール構文は、他のルールと整合するように修正されました。
57994	5.2.3	クエリ/レポート	MINIMUM_SEARCH_FIELDSの値にかかわらず、検索画面において、より多くのフィルタが必要であるとの警告メッセージが出力されていました。	これはユーザが選択した最初のフィルタがKEYWORDであった場合にのみ発生しました。このバグは修正されました。
61602	6.0	クエリ/レポート	Firefoxブラウザにおいてクエリを更新すると、更新結果を含むタブが表示されませんでした。	結果を含むブラウザ・タブへのフォーカスが設定されるようになったため、ユーザが異なるフィルタの選択後にレポートを再実行すると、自動的に結果集合が表示されます。
64699	6.0	クエリ/レポート	MODULE_IDフィールドで「等しくない」フィルタ演算子を使用したマトリクス・レポートが正しい結果を示しませんでした。	この問題は、MODULE_IDフィールドに使用されるSQLを改訂することにより解決されました。
65129	6.0	クエリ/レポート	階層カラム・レポートのALT_IDフィールドにドリルダウンしようとする時、ユーザにセッション期限切れのメッセージが示されました。	より一般的に使用されるIDフィールドでは正しく動作しましたが、ALT_IDフィールドでは動作しませんでした。現在では修正されています。
65133	6.0	クエリ/レポート	階層レポートのカラムが、レポート上の次のカラムの内容に置き換えられていました。	階層レポートの編集画面では、カラムがレポートに選択可能であるかをデータ辞書を参照して確認しなかったためにこの問題が発生していました。したがって、カラムはエディタで選択可能であったものの、出力には表示されませんでした。本件は修正されました。
65223	5.2.1	クエリ/レポート	クエリにおいて長いデータベース名を集約すると、java.lang.reflect.InvocationTargetExceptionが発生していました。	階層レポートで統合データを生成すると、この問題が発生しました。集約フィールド名が30文字の制限に近づいていました。この問題は解決されました。
65511	5.2.3.5	クエリ/レポート	リピーティング・レコードのテキスト・エリア表示タイプは、詳細レポートに出力される場合に、表示されるissueごとに固有ではありませんでした。	このような構成はまれですが、テキスト・エリア表示タイプがリピーティング行に配置されている場合、レコードが詳細レポートに出力されると、フィールドの値がリピーティング行ごとに繰り返されていました。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
65924	6.0.1	クエリ/レポート	QUERY_TIMEOUT_SECONDSがExtraViewによって適用されている場合、クエリのタイムアウトから例外をキャッチする必要がありますがありました。	QUERY_TIMEOUT_SECONDSという設定により許容されている時間よりも長くかかっているクエリをExtraViewがキャンセルすると、ユーザに未知のエラーが発生したと報告されていました。この動作を変更し、データベースからのエラーが正しく解釈され、ユーザに適切なエラー・メッセージが表示されるようになりました。
66181	6.0.1	クエリ/レポート	レポートがIEブラウザでは崩れ、Firefoxブラウザの出力ではカラムが1つ欠落していました。	この問題は、階層レポートで出力に特定の組み合わせのフィールドが含まれる場合にのみ発生しており、レポート・フィールドがEditボタンのすぐ下に出力されていました。Editボタンは階層レポートではスキップされますが、その下のフィールドがIEでは正しくレンダリングされず、Firefoxブラウザでは位置がずれていました。このバグは修正されました。
66701	6.0.1	クエリ/レポート	関連issue情報がPDF/Microsoft Wordの詳細レポートにレンダリングされませんでした。	関連issueレイアウトは、PDFおよびMicrosoft Wordのレポートで正しくレンダリングされるようになりました。
67290	6.0.1	クエリ/レポート	階層レポートでは、すべてのカラムの情報がExcelスプレッドシートにエクスポートされませんでした。	階層構造のカラム・レポートにおいて、テキストエリア・フィールドが出力に含まれている場合、レポートをExcelに送ると、テキストエリア・フィールドが空白になるか重複していました。これはテキストエリア・フィールドにのみ影響していましたが、修正されました。
67386	6.0.1	クエリ/レポート	Excelレポート:テキストエリア・フィールドでフォーマットが失われていました。	これは比較的不明瞭な問題で、ExtraViewのバグというよりもExcelの問題といえるものでした。ExtraViewから作成されるスプレッドシートにダブルバイト文字(中国語など)が含まれている場合、ユーザのMS-OFFICE文字セットの個人設定はwindows1250に設定すべきでなく、UTF-16LEに設定すべきです。
70297	6.0.3	クエリ/レポート	階層レポートでは、Excelスプレッドシートにデータ出力したとき、不適切な子レコード集合が返される場合があります。	出力に選択したフィールド集合が不適切である場合、この問題が発生しました。このバグは修正されました。
70487	6.0.3	クエリ/レポート	SQLサーバのデータベースでは、レポート式が一部しか保存されませんでした。	これは長いレポート式についてのみ、データベースがSQLサーバである場合にのみ発生しました。このバグは修正されました。
73891	6.0.3	クエリ/レポート	レポート作成時のフィルタ評価 - フィルタ値が保持されないことがありました。	詳細フィルタでフィルタ値に「等しくない」が設定された場合、それがレポートに保存されないことがありました。このバグは修正されました。
73928	6.0.4	クエリ/レポート	Excelへの出力中に空白の画面が表示されていました。	これはIE6およびFirefoxにおいてのみ発生しました。これは単に外観上の問題であり、修正されました。
74624	6.0.4	クエリ/レポート	*None* の値でレポートに保存された詳細フィルタは、内容の編集のためにレポートをロードしたとき、*Any* にリセットされていました。	本件はバグであり、修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
66893	6.0.1	サインオン	フローティング・ライセンスのユーザに対し、RC1セッション・エラーが過剰に表示されていました。	これは自動サインオフの動作設定を有効にしていることが原因であり、少数のサイトでのみそれが使用されていました。問題は解決され、フローティング・ライセンスのユーザには正規のセッション期限切れのみが表示されるようになりました。
64847	6.0	ユーザ・インタ	リフレッシュ・タイプがAjaxである場合、ユーザは複数選択のリスト・フィールドで最後に選択した親値を解除できませんでした。	本件は修正されました。
77303	6.0.4	APIおよびCLI	evhist -pオプションが機能しませんでした。	このオプションは、サーバによって返されたフィールドの検証に詳細レポートを使用する代わりに特定のレポートを指定できるようにするものでしたが、機能していませんでした。本件は修正されました。
77274	6.0.4	追加および編集	ユーザ・ポップアップ・フィールドにおいてQuickEditを実行中にEnterキーを押すと、現在のユーザがサインアウトされていました。	この現象は、Quickeditが関連issueの表示画面に構成されており、そのフィールドが画面上で唯一のフィールドであるという特異な構成において発生しました。この現象が発生すると、ENTERキー押下によりセッション期限が切れ、ユーザがシステムからサインアウトされていました。本件は修正されました。
80589	6.1	追加および編集	ポップアップ・ユーザ・フィールドで、名前をポップアップ・リストから選択する代わりに直接入力すると、ルールが起動されませんでした。	管理者がポップアップ・リストに表示されているユーザ・フィールドに基づいてルールを構成した場合、ユーザがリストから名前を選択する代わりに直接入力すると、ルールが起動されませんでした。本件は修正されました。
83561	6.1	追加および編集	Ajaxリフレッシュにおける反復エラー	親子の従属関係でループしている、構成が不十分なレイアウトがあると、追加または編集画面でのAjaxリフレッシュが失敗していました。従属関係でのループが発生するようなレイアウトは構成するべきではありませんが、基本コードが変更されたため、問題はもう発生しません。
77277	6.0.4	管理	ユーザのロールに権限がない場合の、プロジェクト内のフィールドへのアクセス	リリース6.0では、プロジェクト・フィールド・レベルのセキュリティ権限が導入されました。この問題は、ユーザがプロジェクトに対する権限を持っていない場合に、プロジェクトのリストにプロジェクト・タイトルが表示されるという現象で現れました。しかし、フィールド・レベルのセキュリティ権限は正しく動作していたため、ユーザが権限を持っていないデータはこれまで表示されませんでした。
73650	6.0.4	Quickedit	関連issueの表示において、Quickeditセッションの終了後にスクロール・バーが消えませんでした。	この問題は常に発生するわけではなかったものの、特定のサイズをもついくつかのレイアウトでは頻繁に発生していました。Quickeditセッションで適切に表示されていたスクロール・バーが、Quickeditセッションの終了時に消去されていませんでした。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
76295	6.0.4	APIおよびCLI	CLIコマンドevreportは多数のレコードを確実に返していませんでした。	CLIコマンドevreportを利用して非常に多数のレコード(5,000件以上)を返そうとすると、コマンドが失敗することがありました。XML形式で結果を返す場合は正しく機能するものの、テキスト形式で結果を返そうとすると、結果が生成されませんでした。 この問題の原因はXMLパーサにあることが判明し、修正されました。
76598	6.0.4	APIおよびCLI	特殊文字によるevuploadのエラー	CLIコマンドevupdateを使用してissueのテキスト・フィールドを特殊文字(Québecなど)を含む文字列で更新すると、フィールドが正しく更新されず、Extraviewでは"Qubec"と表示されていました。 EVENCODEという新しい環境変数が導入され、ユーザがUTF-8以外のエンコーディングを使用したい場合に、DOSコマンド・プロンプトで独自のエンコーディングを設定できるようになりました。
77303	6.0.4	APIおよびCLI	evhist -pオプションが機能しませんでした。	このオプションは、サーバによって返されたフィールドの検証に詳細レポートを使用する代わりに特定のレポートを指定できるようにするものでしたが、機能していませんでした。本件は修正されました。
107432	5.2.3.4	APIおよびCLI	API関数のallowed_listによりStringIndexOutOfBoundsExceptionが生成されていました。	この現象は、ある顧客サイトでUDFリスト値の内部IDが2桁しかなく、コードではIDが常に3桁以上あることを想定していたために発生しました。本件は修正されました。
77274	6.0.4	追加および編集	ユーザ・ポップアップ・フィールドにおいてQuickEditを実行中にEnterキーを押すと、現在のユーザがサインアウトされていました。	この現象は、Quickeditが関連issueの表示画面に構成されており、そのフィールドが画面上で唯一のフィールドであるという特異な構成において発生しました。この現象が発生すると、ENTERキー押下によりセッション期限が切れ、ユーザがシステムからサインアウトされていました。本件は修正されました。
80589	6.1	追加および編集	ポップアップ・ユーザ・フィールドで、名前をポップアップ・リストから選択する代わりに直接入力すると、ルールが起動されませんでした。	管理者がポップアップ・リストに表示されているユーザ・フィールドに基づいてルールを構成した場合、ユーザがリストから名前を選択する代わりに直接入力すると、ルールが起動されませんでした。本件は修正されました。
83561	6.1	追加および編集	Ajaxリフレッシュにおける反復エラー	親子の従属関係でループしている、構成が不十分なレイアウトがあると、追加または編集画面でのAjaxリフレッシュが失敗していました。従属関係でのループが発生するようなレイアウトは構成するべきではありませんが、基本コードが変更されたため、問題はもう発生しません。
107265	6.1.1	追加および編集	複数値を持つポップアップ・リスト・フィールドで複数の値の選択が可能でした。	複数値からなるリスト・フィールドのポップアップから値を選択すると、同じ値を複数回選択することが可能でした。値がそれぞれ1回だけ選択可能であるように、この動作が変更されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
107674	6.1.2	追加および編集	REMOVE_NONEは表示タイプがラジオ・ボタンであるフィールドのデフォルト値を自動的に選択するべきではありません。	REMOVE_NONEレイアウト要素属性がラジオ・ボタン表示タイプのフィールドに設定されたとき、デフォルト値が設定されなくなりました。フィールドに関連付けられたデフォルト値がなければ、ラジオ・ボタンは設定されません。これにより、(フィールドが必須でないとして)ユーザが値をクリックしない場合、そのフィールドにヌルを残すことが可能です。
107699	6.1.2	追加および編集	ブラウザ・タブにAlt IDが表示されませんでした。	ITEM_ID_DISPLAYという動作設定がALT_IDに設定されていると、issueのIDを表示する箇所すべてでALT_IDが使用されます。issueの編集画面のブラウザ・タブには、ALT_IDではなくベースIDが表示されていました。本件は修正されました。
118897	6.1	追加および編集	ALT_ID自動生成用の置換ロジックの問題	この原因は、ALT_IDを作成するシーケンスにおいてプロジェクト・フィールドを使用していたためでした。この組み込みフィールドは、ALT_ID機能と共に動作するようにコーディングされていませんでした。本件は修正されました。
119290	6.1.1	追加および編集	ユーザがレコードを別の"selected by"タブから更新した場合に、VALIDATE_HIDDEN属性を持つフィールドに対して必須属性が要求されていませんでした。	本件は修正されました。
76717	6.0.4	管理	PR_RESOLUTION.EDIT_BUTTON権限が必ずしも有効ではありませんでした。	編集ボタンに対して欠落している権限のチェックが、電子メール・レイアウトを含むいくつかのレイアウトに追加されました。電子メールにEDITボタンを表示するには、受信者がPR_RESOLUTION.EDIT_BUTTONに対する読み取り権限を持っていない限りなりません。
77277	6.0.4	管理	ユーザのロールに権限がない場合の、プロジェクト内のフィールドへのアクセス	リリース6.0では、プロジェクト・フィールド・レベルのセキュリティ権限が導入されました。この問題は、ユーザがプロジェクトに対する権限を持っていない場合に、プロジェクトのリストにプロジェクト・タイトルが表示されるという現象で現れました。しかし、フィールド・レベルのセキュリティ権限は正しく動作していたため、ユーザが権限を持っていないデータはこれまで表示されませんでした。
90001	6.0.4	管理	クリーンアップすべき一時サーバ・ファイルが多すぎると、ユーザがサインオフできず、プロセスが停止していました。	ある顧客がこの問題を報告しました。何十万個もの一時ファイルが(長期間に実行されたグラフによって)一時記憶ディレクトリに存在していました。クリーンアップ処理はタスクが完了しないうちに再実行されていたため、ループ状態が生じていました。この状態を防止するようにクリーンアップ処理が改善されました。
101844	6.1.1	管理	"Add New"レイアウト・セル属性により、追加画面と編集画面でJavaScriptエラーが発生していました。	前リリースにおいて、追加/編集画面からのウィンドウに対するポップアップ・ウィンドウ・タイプはパフォーマンス上の理由から変更されました。レイアウト内でレイアウト・セル属性を使用することにより新しい値をリストに追加する機能が、この処理の間に誤って壊されていました。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
105825	6.0.4	管理	新しいプロジェクト値を追加して権限を設定しても、その値がロードバランシングが実装されたすべてのアプリケーション・サーバに伝播していなかったと思われます。	アプリケーション・サーバ上のメタデータに対するすべての変更が直ちに他のアプリケーション・サーバに伝播しない場合があります。対応策は、アプリケーション・サーバを再起動することでした。根本となる問題が発見され、修正されました。
60208	5.2	許容値	リスト内にモジュールが1つしかない場合、機能に割り当てられたモジュール・フィールドが動作しませんでした。	モジュール値が1つしかないインストールが例外的であれば、これは影響の少ないバグでした。本件は修正されました。
76552	6.1	BatchMail	テキストのみのメールを受信するよう選択したユーザに通知が送られないことがありました。	テキストのみのメールに対するMIMEタイプが正しく設定されておらず、いくつかのメール・プログラムではこのMIMEタイプの欠如が処理されませんでした。この問題に対処するため、現在はMIMEタイプが明示的にtext/plainに設定されています。
119236	6.1	データベース	大文字と小文字を区別するインデックスに対するMySQLデータベースの照合を変更しました。	これにより他のデータベースの実装と整合するようにしています。
118338	6.1	EV Mail	動作設定EMAIL_ALLOW_UNQUAL_ADDRESSESがYESに設定されていると、EVMAILではすべてのユーザに対して電子メール・アドレスが解決されませんでした。	本件は解決し、EMAIL_ALLOW_UNQUAL_ADDRESSESがYESである場合に、すべてのユーザの非修飾の電子メール・アドレスが解決されるようになりました。
76718	6.0.4	履歴	ABBREVIATED_HISTORYがYESである場合、履歴レポートはすべてのリピーティング・レコードの変更を示しませんでした。	この問題は、リピーティング行においてユーザ定義フィールドの値だけが変更され、他の変更が行われなかった場合に発生することがわかりました。この問題は修正されました。
99355	6.1	インポートとエクスポート	メタデータのエクスポートにおけるシステム・エラー (ORA-00936: 式がありません)	このバグは両立しないファミリ集合が選択されたときに発生しました。「すべて」オプションと共に「レポート以外すべて」オプションが選択された場合にエラーが発生しました。本件は修正されました。
99362	6.1	インポートとエクスポート	メタデータ・インポートのエラーを修正しました。	ユーザ・インタフェースではファミリの選択において「すべて」と「レポート以外すべて」の両方を選択することが可能でした。これが対処不能なエラーを引き起こしました。ユーザ・インタフェースが修正され、この組み合わせが選択できなくなりました。
87862	6.1	関係者リスト	関係者リストのフィルタリングのエラーが修正されました。	フィールド値を「*None*」に設定して関係者リストが作成されると、プログラムはこれを「*Any*」として解釈していました。これはバグで、修正されました。
119763	5.2.2.2	国際化	PRIVACYフィールドのローカライズされたタイトルが追加画面に表示されませんでした。	このフィールドに対するSQLではローカライズされた機能を利用せず、常に値を取得しており、常に英語を表示していました。本件は修正されました。
118334	6.1	LDAP	担当者フィールドの許容値がLDAP接続では動作しませんでした。	許容値の定義において、親値が定義されていない場合、ExtraViewはポップアップ・ユーザ・フィールドのレンダリングに際してヌルの親を処理していませんでした。ユーザ・フィールドがリスト・フィールドとして表示される、より一般的な使用方法では正しく動作していました。本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
90167	6.1.1	レイアウト・エディタ	レイアウト・エディタでは複数の管理者に対してプロジェクト・セキュリティ権限を正しく判断していませんでした。	レイアウト・エディタにおいて、プロジェクト・リストは権限のセットを考慮せずにすべてのプロジェクトのリストを示しました。この現象は、複数の管理者が異なる権限で定義されている、複数のユーザ・グループを持つ環境にのみ影響しました。本件は修正されました。
101886	6.1.1	通知	電子メール・ルールが動作しません。	バージョン6.1.1では、電子メール・ルールとして設定された通知ディレクティブがissueの追加に際して正しく動作していませんでした。通知でのセキュリティ権限をより適切に処理するよう、バージョン6.1.1のコードを変更しました。この変更により、issueの追加に関係するいくつかの電子メール・ビジネスルールで問題が生じました。その問題はこのパッチで解決されています。
83508	6.0.4	関係	TIMESTAMPフィールドのソーティングが関連issueの表示レイアウトで失敗していました。	TIMESTAMPフィールドが関連issueの表示レイアウトに配置されている場合にユーザがそのフィールドのタイトルをクリックし、その値によってエントリをソートしようとする、プログラム例外が発生しました。本件は修正されました。
89996	6.1	ルール・エンジン	MAILアクションにより、無効にされたユーザにメール通知が送信されていました。	特定のユーザ・ロールを持つすべてのユーザにメール・テンプレートを送信するために、特殊なアクション・ルールのMAILをROLE識別子と共に使用すると、該当するユーザ・ロールを持つアクティブなユーザが通知を受け取るだけでなく、同じユーザ・ロールが割り当てられていた無効化されたユーザにもメールが送信されていました。 例えば、以下の特殊アクション・ルールMAILでは、RTF_ANALYSTユーザ・ロールを持つアクティブなユーザと非アクティブなユーザの両方にメール通知が生成されました。 {MAIL: 'RTF_ANALYST_EMAIL', ROLE:RTF_ANALYST}; この動作が変更され、アクティブなユーザだけが通知を受け取るようになりました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
119105	6.0.4	ルール・エンジン	反復する数値フィールドでの加算が複数行では動作しませんでした。	すべての行の総合計を計算するために数値タイプのリピーティング行フィールドを追加すると、最後の行の値のみが合計値に代入されていました。例えば、以下のビジネス・ルールを使用して、3、2、1という値を持つ3つのリピーティング行についてリピーティング・フィールド値RELEASE_NUMBERの総合計値を計算すると、TOTAL_NUMBERに代入される値は1でした。 <pre><= preupdate ==> TOTAL_NUMBER = 0; if (RELEASE_NUMBER != {NULL}) { TOTAL_NUMBER += RELEASE_NUMBER; }</pre> このルールでは以前は正しい結果が返されませんでした。この問題は修正されました。
123131	6.1.2	ルール・エンジン	フィールドの表示タイプがHTMLエリア・タイプである場合、ビジネス・ルールの最後に&=が付加されませんでした。	このバグは、他のすべてのテキスト・フィールドおよびテキストエリア・フィールドと同様に動作するように修正されました。ルールを伴うHTMLエリアのエントリに有効なHTMLが付加されるようにすることは、管理者の責務です。
87865	6.0.4	クエリ/レポート	表示タイプが「日(day)」であるフィールドを、レポートで実行時フィルタとして使用することができませんでした。	日付(DATE)フィールドは正しく動作していましたが、日(DAY)フィールドは実行時フィルタとして使用できませんでした。本件は修正され、両タイプとも正しく動作するようになりました。
101874	6.0.4	クエリ/レポート	Microsoft SQL サーバのデータベースにおいて、日付クエリのフィルタ・オペレータにより誤った結果が返されることがありました。	Microsoft内部の数人にしか知られていない理由から、SQLサーバでクエリを実行すると、日付と時刻のFractional Second Precisionの値は.000秒、.003秒、または.007秒の単位で四捨五入されます。通常四捨五入の方法に従っていない理由は不明です。 このため、午前0時に非常に近い結果となる日付の計算で、日付を丸めると翌日にずれてしまう場合がありました。現在では、ExtraViewはこのような丸め結果を補正しています。
120359	6.0.4	クエリ/レポート	「含む」オペレータを含むフィルタ基準が「等しい」オペレータに戻され、値に"*"が挿入されていました。	この現象は、フィルタリングされるフィールドがテキスト・フィールドであった場合、詳細クエリ画面でフィルタを設定すると発生しました。このバグは修正されました。
122328	6.0.4	クエリ/レポート	リピーティング行の詳細レポートのテキスト出力にヌル・ポイントが含まれていました。	この現象は、リピーティング行のユーザ定義フィールドにヌル値があった場合に発生しました。本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
107266	6.1.1	サインオン	パスワードが期限切れとなったユーザがログインを試みると、エラーが発生しました。	パスワードが期限切れとなったユーザがログイン画面または通知メールのView/Editボタンからシステムへのアクセスを試みると、複数のエラーが示されていました。本件は修正されました。
105691	6.1.1	Webサービス	Webサービスの応答は、一部のXMLリーダーに対しては少し異なるWSDLを必要とします。	Webサービスにおいて生成されるWSDLは、ほとんどのXMLリーダーで問題なく動作します。しかし、いくつかのアプリケーションでは互換性の面からわずかに異なるWSDLファイルを必要とします。現在ではExtraViewに2セットのWSDLファイルが同梱されるようになり、さまざまなXMLリーダーとの互換性が提供されています。
77345	6.0.2	デーモン	Perforce統合デーモンのCLOSE_WAITとパフォーマンス	構成が不適切なPerforce統合デーモンで、パフォーマンスの低下がみられ、システム・コンソールにはネットワーク・ソケットから“CLOSE_WAIT”ステートメントが返されていることが表示されました。構成が不適切な場合のデーモンの強制終了が変更され、ネットワーク・ソケットのエラーが除去されるようになりました。
156909	6.2.1	APIおよびCLI	TIMESTAMP=dateを使用したAPI検索で、一貫した結果が返されない場合があります。	クエリを実行しているユーザのタイムゾーンがデータベースのタイムゾーンと異なる場合に、この問題が発生しました。タイムゾーンの差異が正しく計算されていませんでした。このバグは修正されました。
142522	6.2	追加および編集	リピーティング行がAjaxタイムアウトの間に削除されることがありました。	ユーザに認知されずにリピーティング行が削除されることがありました。リピーティング行の[新規追加]ボタンをクリックした後、その操作が完了する前に[更新]ボタンをクリックすると、この現象が再現されます。最初の操作でAjaxタイムアウトが発生すると、更新操作によって1つ以上のリピーティング行が削除されることがありました。このバグは修正されました。
155263	5.0.2.3	管理	security_userテーブルでユーザID/ユーザ名が「重複」していました。	この事例では、顧客のLDAPサーバの不適切な構成により、同じユーザID/ユーザ名が作成され、うち一方の最後にスペースが追加されていました。これによってExtraViewのLDAP upsert機能に対して異なる値が作成されたため、ExtraViewでは同一アカウントが複数回作成されたように見えました。現在、ExtraViewでは常にLDAPサーバから受け取ったユーザIDの前後にあるスペースを除去するようにし、この問題を回避しています。
119763	5.2.2.2	国際化	PRIVACYフィールドのローカライズされたタイトルが追加画面に表示されませんでした。	このフィールドに対するSQLではローカライズされた機能を利用せず値を取得しており、常に英語を表示していました。本件は修正されました。
147899	5.2.2.2	国際化	PRIVACYフィールドのローカライズされたタイトルが追加画面に表示されませんでした。	このフィールドに対するSQLではローカライズされた機能を利用せず値を取得しており、常に英語を表示していました。本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
157660	6.2.1	レイアウト・レンダリング	HTML_PREフィールドおよびHTML_POSTフィールドは、読み取り/書き込み権限がなくてもレンダリングされていました。	追加/編集レイアウト上のHTML_PREフィールドおよびHTML_POSTフィールドには特殊な処理が行われるため、これらのフィールドのフォーマット時に読み取り/書き込み権限が考慮されていませんでした。このバグは修正されました。
158457	6.2.1	レイアウト・レンダリング	ネストされたレイアウトでVisible If属性のAjaxリフレッシュが動作しませんでした。	3層以上にネストされた埋め込みレイアウトでは、親レイアウトのVisible If属性が失敗していました。このバグは修正されました。
158936	6.1.4	レイアウト・レンダリング	ユーザが関連issueレコードの更新ボタンをクリックすると、Ajax呼び出しタイムアウトのエラー・メッセージが発生していました。	このバグはLDAPが有効にされたインストールにおいて、ユーザが空白の名前のLDAPディレクトリを検索しようとするとき発生しました。この操作を行うと、LDAPサーバはすべてのレコードを返そうと試みていました。大規模なインストールではこの処理に長い時間を要し、そのためタイムアウトとなる場合があります。LDAPサーバの検索によってすべてのレコードが返されることがないようにし、この問題を解決しました。
142500	6.2.1	通知	クエリ内のテーブル名が多すぎるとのエラー	このエラーは、リピーティング行の多数のフィールドが変更されていて、非常に多数のユーザが1つの関係者リストでそのissueに関連付けられているサイトにおいてまれに発生しました。問題を解決するようにクエリが変更されました。
119116	6.0.4	ルール・エンジン	複製ルールにおける{NULL}がjava.lang.ArrayIndexOutOfBoundsExceptionで失敗していました。	このバグは、複製ルールの中でユーザ・フィールドを使用する場合に影響ありましたが、修正されました。ASSIGNED_TO = {NULL}の使用に代えて、ASSIGNED_TO = {clear}; を使用する回避策がありました。
131124	6.0.3	ルール・エンジン	<==clone==> ビジネス・ルールがグローバル・エリアのルール・セクションにあると、ルールは動作しませんでした。	このバグは報告され、ルールがどのビジネス・エリアまたはグローバル・エリアのルール・セクションでも動作するように修正されました。
154958	6.1.2	ルール・エンジン	"Changed to"ルール修飾子は、2番目のリピーティング行にあるフィールドでは動作しませんでした。	このバグは非常に特殊な状況下で発生しました。単一のリピーティング行で始まったissueを更新する場合に、そのissueがChanged、Changed ToまたはChanged Fromのうちどれかを使用するリピーティング行フィールドに依存するルールを持っていると（その行が最初に追加された時点で）、2番目のリピーティング行ではルールが起動されませんでした。 このバグは修正されました。
147375	6.1.4	クエリ/レポート	レポートでTIMESTAMP_SINCEフィールドを利用すると、サマリ・レポートで起動ターゲットの例外が発生しました。	このバグは修正されました。
154109	6.2.1	クエリ/レポート	カスタム関連issue表示の中にある通貨フィールドにより、issue IDのハイパーリンクが失敗していました。	関連issue表示の中のいずれかのフィールドが通貨表示タイプである場合、カスタマイズされた関連issue表示におけるissue IDのドリルダウン・リンクが失敗していました。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
77394	6.0.4	サインオン	SSO_PRIMARYKEYに“@”が含まれていると、SSO認証が正しく動作しませんでした。	このバグは修正されました。
164500	6.2.1	APIおよびCLI	Excel 2007のXMLネイティブ・パーサは、CLIコマンド evhistのXML結果を正しく解析しませんでした	これは実際にはExcel 2007のバグですが、ExtraView CLIで修正を行いました。API呼出しのhistoryに新しい任意指定パラメータとしてSHOW_ATTRIBUTESが追加されています。この属性を指定すると、APIではhistoryの呼出しに対してXML形式で属性が返されません。この属性がNO（大文字/小文字は不問）以外の値でAPIに提供されると、属性が返されます。
166347	6.3.1	追加および編集	[あいまいな名前のリスト]ウィンドウで複数值を持つユーザ・フィールドが使用されると、JavaScriptエラーが発生していました	これはバグで、修正されました。
166652	6.3.1	追加および編集	ユーザのポップアップ・ウィンドウからアクセント記号付きの文字を名前に含むユーザを選択すると、エラーが発生しました	この問題は修正され、ポップアップ画面がすべての文字で動作するようになりました。
166849	6.3.1	追加および編集	当該フィールドにHTML修飾子の“onclick”のレイアウト要素属性がある場合、表示タイプがチェックボックスであるフィールドでAjaxリフレッシュが機能しませんでした	チェックボックス表示タイプのフィールドにonClick JavaScript イベントを伴うHTML修飾子と共に、そのフィールドに影響するAjax呼出しがある場合、onClickイベントによってAjax呼出しが起動されませんでした。本件は修正されました。
166960	6.3.1	追加および編集	HTML Areaフィールドでビュレット・ピッカーが正しく機能しませんでした	ユーザがHTMLエリア・フィールド内で複数行のテキストを選択し、ビュレット・アイコンをクリックすると、テキストの最初の行のみにビュレットが付けられていました。本件は修正されました。
181707	6.3.1	追加および編集	Ajaxリフレッシュの後、フィールドにフォーカスしようとするとJavaScriptエラーが発生しました	これはInternet Explorerでのみ発生する問題でした。この問題の再現には、HTML入力タグ(テキスト、数値、通貨、またはポップアップのフィールドなど)を使用したフィールドが構成されており、その後CSSスタイル“display:none”で構成されたフィールドが続き、最初のフィールドへの変更によってAjaxリフレッシュが起動されることが必要でした。 標準のExtraViewの動作では、入力フィールドでのAjaxリフレッシュの後、フォーカスは次のフィールドに移動します。IEにおいて、このフィールドが非表示である場合、JavaScriptエラーが起きていました。このバグは修正され、ExtraViewが非表示フィールドをスキップするようになりました。
165975	6.0.4	管理	モジュール・フィールドのタイトルの重複が許容されませんでした	元の仕様では、管理者がMODULEフィールドに重複したタイトルの設定が可能であることを要求していました。この機能は失われていましたが、現在では復旧されています。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
167518	6.3.1	管理	エクスポート・ファミリのどれかが省略されていると、XMLエクスポートでレイアウト要素属性が除外されていました	これはバグであり、本件は修正されました
181925	6.2.3	管理	ユーザがExtraViewにアクセスする際、SSOとLDAPがカスタム認証と共に使用されていると、ログ・ファイルにエラーが出力されていました	シングル・サインオンを使用する顧客はSSO_STATEをYESに設定しなければなりません。定義上、これは、認証がExtraViewの外部で処理されることを意味します。しかし、認証にWebサービスがAPI呼出しが使用される場合、これらの呼出しはSSOを経由しないため、LDAPまたはExtraViewセキュリティ・ユーザ・テーブルに対して認証を行う必要があります。したがって、管理者はWebサービスを使用している“service”アカウントをLDAPサーバに対して認証できるようにするため、CUSTOM_AUTHENTICATIONをHYBRIDに設定していました。このような状況において、エンドユーザがExtraViewにアクセスしたとき、ログにエラーが書き込まれていました。機能上のエラーがないため、ログ・エントリは抑止されました。
167109	6.2.3	データベース	MySQLデータベース - security_userテーブルを更新するクエリが遅くなっていました	ユーザがExtraViewへのサインオンを試みたとき、Active Directoryサーバがユーザの認証を行うと、処理速度が遅くなることがあります。この問題を再現することは非常に困難でしたが、このシナリオが今後発生する可能性を最小限に抑えるべく、コードが変更されました。
87848	6.1.1	EV Mail	SMTP_REPLY_TEMPLATEテンプレートが動作していませんでした	新規issueの登録にEVMailが使用されると、動作設定SMTP_REPLY_TEMPLATEによって識別されるテンプレートを使用してユーザにイベントが通知されることになっていました。これはバグであり、修正されました。
165410	6.2.1	EV Mail	「重大なタスク構成」のメール・メッセージが管理者に送信されていました	インストールのネットワークの一時的なエラー状態によって、電子メール・サーバまたはExtraViewタスクを利用するその他のサーバとの接続が切断されることがありました。接続が復旧したとき、エラーがもう発生していないにもかかわらず、ExtraViewが依然としてエラーを出力していました。この問題は修正され、サービスがタスクに復旧したときエラーの出力が停止されるようになりました。
165678	6.1.4.5	一般的なコードの問題	Catalinaログに“error: invalid number (0 or).” というエラーが出力されていました	このログ内のエラーはExtraViewに何の障害ももたらさずでしたが、エラーは出力されなくなりました。
165862	6.3.1	関係者リスト	AREAフィールドに対して関係者リストを有効にするとエラーが発生しました	データ辞書のAREAフィールドには不適切なルックアップ・エントリがありました。この問題を解決するようにデータベースが修正され、AREAフィールドが関係者リストで正しく動作するようになりました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
166908	5.2.2.2	国際化	言語が日本語に設定されていた場合、カスタム日付マスクの形式に問題がありました	この機能はほとんど使用されることがなく、導入開始以来一度も動作していなかったことがわかりました。この問題は修正されました。
183642	6.2.1.1	LDAP	無効なパスワードが入力されるとLDAP例外がキャッチされました	この問題により、LDAPが有効にされている状態でユーザがサインオンすると、ログ・エントリに例外が示されませんでした。機能上の変更はありません。
147324	6.2	クエリ/レポート	ユーザがID#フィールドと「含む」演算子をフィルタとしてクイックリスト・レポートを生成すると、java.lang.exceptionが発生しました	「含む」演算子をIDフィールドと共に使用することは無効です。その演算子を選択できないように、リストから消去されました。
166114	6.3.1	クエリ/レポート	"not in"演算子を含む詳細クエリ・フィルタでは、フィルタリングされたフィールドにヌル値があるレコードを表示しませんでした	このエラーは修正されました。フィルタリングされたフィールドにヌルが含まれるレコードがクエリで返されるようになりました。
167745	6.3.1.1	クエリ/レポート	多数のissueを含むエージング・レポートの実行速度が遅くなっていました	エージング・レポートを実行するためにデータベースに適用されるSQLが、処理を高速化するように変更されました。ExtraViewの機能上の変更はありません。
166769	6.3.1	ユーザ・カスタム	ucLoginAuthenticateUserメソッドによりユーザのデフォルト・エリア/プロジェクトが0/0に設定されていました	ユーザのデフォルトのエリアおよびプロジェクトがゼロ以外の場合、このメソッドはエリアとプロジェクトを元の値のままにすべきでした。本件は修正されました。
185266	6.3.1.1	追加および編集	許容値 - 表示タイプがリストとラジオボタンである追加画面のフィールドで転送エラーが発生しました	この問題は、追加画面の許容値の親値と、リピーティング行にある対応する子値で発生していました。この構成で、リピーティング行にあるフィールドの子値を選択すると、ajax転送エラーが発生しました。
185372	6.3.1.1	追加および編集	1つのリストに非常に多数のレコードが含まれている場合の、許容値リストのパフォーマンスを改善しました	UDFリストに5万件を超えるエントリが含まれており、それが許容値リストの一部であった場合、子レコードを取得するのにやや時間がかかっていました。この処理のパフォーマンスは大幅に改善しました。
185454	6.3.1.1	追加および編集	埋め込みレイアウトのAjaxリフレッシュの後にフィールド値が消去されていました	いくつかのフィールドと埋め込みサブ・レイアウトに同時にAjaxリフレッシュを実行しようとすると、この問題が発生しました。このように構成されたとき、Ajaxリフレッシュによってサブ・レイアウト内の値が消去されていました。このバグは修正されました。
186365	6.2.3	追加および編集	組み込みフィールドPRODUCT_NAMEにおけるAjaxリフレッシュの問題	PRODUCT_NAMEフィールドに依存するフィールドにかかわるリフレッシュ・ルールが、一貫した動作を示しませんでした。このバグは修正されました。
183623	6.3.1.1	一般的なコードの問題	"x"をクリックしてモーダル・ウィンドウを閉じると、IE7では親レコードに戻りませんでした	このバグはIE7固有でした。モーダル・ポップアップの右上隅の"x"を使用したとき、ウィンドウを閉じる操作で親レコードに戻りませんでした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
185350	6.3.1.1	ルール・エンジン	ERRORルールが起動されると、モーダルなポップアップ・ウィンドウがフリーズして編集不能になっていました	新しいモーダルなポップアップの編集画面か追加画面においてERROR状態を引き起こすビジネス・ルールによって、エラー・ダイアログが表示されたときにモーダル・ウィンドウがフリーズしていました。このバグは修正されました。
185341	6.3.1.1	クエリ/レポート	6.3.1.1へのアップグレード後、レポートの一部が非表示になっていました	この問題は権限キーSR_ALLOW_HIERARCHYに関係していました。これにより、いくつかのレポートがクエリ画面に表示されなくなっていました。この問題は修正され、すべてのレポートが表示されるようになりました。
186297	6.2.1.1	データベース	security_userテーブルのインデックスが変更されました	security_userテーブルのインデックスが再作成され、この頻繁に使用されるテーブルにアクセスする際のパフォーマンスが向上しました。
163461	6.2.2	APIおよびCLI	evuploadに関する問題が解決されました	1) 添付ファイルをアップロードして異なるユーザを「作成者」に指定できるようにする、-sパラメータが機能していないように見受けられました。 2) ファイルに添付するチケットを識別するためにIDの代わりにALT_IDを指定できるようにする、-aパラメータが機能していませんでした。 これらの2つの問題が修正されました。
162371	6.1.4	追加および編集	リピーティング行の複数値リスト・フィールドによりissueの更新時にエラーが発生していました	ある顧客において、リピーティング行(RELEASE)レイアウト上に複数選択リスト・フィールドがあり、空の({NULL})値が選択されている場合に、レコードの更新時にエラーが発生していました。
164692	6.2.3	追加および編集	許容値の子になっていたユーザ・リストで不適切なソート順序が使用されていました	この現象は、動作設定USERNAME_DISPLAYでLASTという値を使用することに関係していました。このように設定されたとき、ソート順序にFIRSTが使用されていました。本件は修正されました。
165852	6.2.3	追加および編集	許容値のバグの修正	これは、グローバル・エリアが許容値の定義で使用されており、そのグローバル・エリアがソート順序の最初の項目ではなく、後にフィールドの許容値の定義が変更された場合に、ごくまれに発生することがあるエラーでした。本件は修正されました。
165977	6.3.1	追加および編集	カラム・レポートからのドリルダウンの際、[前へ]と[次へ]のボタンが確実に表示されませんでした。	ユーザ・ロールにこれらのボタンの使用権限があると想定し、これらのボタンが確実に表示されるようにすることで、この問題は解決されました。
165363	6.2.3	EV Mail	件名におけるメール・テンプレートとフィールドの代入に関する問題	以前は、\$\$ID\$\$などのフィールドへの代入は電子メール・テンプレートの本文でのみ機能しました。この動作が改善され、メールの件名でも機能するようになりました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
162352	N/A	一般的なコード の問題	Extraview6.1.1におけるXSSの脆弱性	ExtraViewサーバ呼び出しURLにJavaScriptが直接挿入されることがあるという、XSSの脆弱性の問題が発見されました。この脆弱性は、ExtraView URL内のJavaScriptがサーバに到達した直後に破棄されるようにすることによって、修正されました。
148546	6.2.1	ルール・エンジン	preupdateルールの処理とリリース・レコードの削除処理の順序によって問題が発生する場合があります	インストール内の適切な構成では、リピーティング行において計算を行い、その結果がリピーティング行の外のフィールドに入られます。ユーザがリピーティング行を削除したとき、その内容がまだ計算に含まれていました。現在では、計算の前に削除が行われ、計算結果に残りの行が反映されるようになりました。
127866	6.1.1	APIおよびCLI	evadd CLIコマンド-定義されたフィールド値とデータ辞書の「デフォルト」の値とが矛盾していました	evaddでデータ辞書のデフォルト値と異なるフィールド値を指定した場合、両方の値を登録しようとして失敗していました。本件は修正されました。
137494	6.2.1	APIおよびCLI	実行できない機能であるとのエラーが出力され、Restful APIをExtraViewレベル・バージョンで使用できませんでした	この問題はExtraViewのユーザにのみ影響し、ExtraView GCバージョンでは起こりませんでした。Restful APIが有効なリクエストにตอบสนองしませんでした。本件は修正されました。
156909	6.2.1	APIおよびCLI	TIMESTAMP=dateを使用したAPI検索で、一貫した結果が返されない場合があります	クエリを実行しているユーザのタイムゾーンがデータベースのタイムゾーンと異なる場合に、この問題が発生しました。タイムゾーンの差異が正しく計算されていませんでした。このバグは修正されました。
134261	6.0.4	追加および編集	リピーティング行でのタブ順序が論理的に推移していませんでした	埋め込みレイアウトまたはリピーティング行レイアウトが追加画面が編集画面に含まれているとき、フィールド間を移動する際にユーザが認識するタブ順序が一貫していませんでした。本件は修正されました。
142522	6.2	追加および編集	リピーティング行がAjaxタイムアウトの間に削除されることがありました	ユーザに認知されずにリピーティング行が削除されることがありました。リピーティング行の[新規追加]ボタンをクリックした後、その操作が完了する前に[更新]ボタンをクリックすると、この現象が再現されました。最初の操作でAjaxタイムアウトが発生すると、更新操作によって1つ以上のリピーティング行が削除されることがありました。このバグは修正されました。
159003	6.2	追加および編集	Internet ExplorerにおけるsetFocus JavaScriptの問題	IEのバグにより、JavaScriptのDOMによって変更されるフィールドに単純なsetFocus処理が実行できませんでした。そのため、あるタブ位置から次のタブ位置までフィールドが入力される際に、Ajaxリフレッシュでフィールドのフォーカスが失われることとなります。これはユーザにとって不便です。Internet Explorerのバグに対処するため、追加のロジックが導入されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
155263	5.0.2.3	管理	security_userテーブルでユーザID/ユーザ名が「重複」していました	この事例では、顧客のLDAPサーバの不適切な構成により、同じユーザID/ユーザ名が作成され、うち一方の最後にスペースが追加されていました。これによってExtraViewのLDAP upsert機能に対して異なる値が作成されたため、ExtraViewでは同一アカウントが複数回作成されたように見えました。現在、ExtraViewでは常にLDAPサーバから受け取ったユーザIDの前後にあるスペースを除去するようにし、この問題を回避しています。
130807	6.1.2	BatchMail	USERがテキスト形式であると電子メール・テンプレートが動作しませんでした	<p>ユーザの個人用メール通知設定が「HTML」ではなく「テキスト」に設定されており、以下のようなビジネス・ルールを使用していた場合、</p> <pre><== preupdate ==> if (SCREEN_NAME='ADD'){ {MAIL: 'Link to Issue', ASSIGNED_TO}; }</pre> <p>メールが送信されませんでした。</p> <p>Batchmailログには以下のように示されました。</p> <pre>2009-08-05 16:27:05 [debug] BM: this is the sent email:com.sesame.mail.SendMail@144b624 2009-08-05 16:27:05 [ALERT] mail send failure:javax.mail.SendFailedException: Invalid Addresses: nested exception is: com.sun.mail.smtp.SMTPAddressFailedException: 501 <null>: recipient address must contain a domain 2009-08-05 16:27:05 [ALERT] mail.send() executed Check out issue 10073 to--->null in 0 seconds</pre> <p>この問題は修正されました。</p>
137519	6.0.4	データベース	issueの添付ファイルに記録された時刻がissue自体と同じタイムゾーンで表されていませんでした	これは、添付ファイルがアップロードされたときにデータベースに記録された時刻が、issueを更新しているユーザのタイムゾーンに設定されないという軽微なバグでした。問題は修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
124114	6.0.4.1	エスカレーション	エスカレーション・ルールを追加または更新するとユーザの現在のプロジェクトが変更されていました	ユーザの現在のエリアとプロジェクトが、エスカレーション・ルールの作成時または更新時に、エスカレーション・ルールに記載されたものに変更されていました。この問題は、ユーザの現在のエリアとプロジェクトを元の値のままにしておくように修正されました。
155009	6.0.4	一般的なコードの問題	SITE_URLの値とAPP_HOMEの値が互いに衝突することがありました	SITE_URLという動作設定に絶対URLパスが指定されている場合、メール通知にあるEditボタンに正しい値が取り込まれませんでした。 これはInternet Explorerのキャッシュのバグによるもので、セキュアなプロキシのネットワークにセキュアでないバックエンド・サーバのインスタンスがあると、ドキュメントがサーバにアップロードされませんでした。これに対処するため、CACHE_ENABLE_FIX_FOR_IEという新しい動作設定を導入しました。このような構成は異例であり、ごく少数の顧客でしかこの問題は発生しないはずです。
161112	6.2.1	一般的なコードの問題	JavaScript/Ajaxでの“Out of memory”エラー	この問題は、埋め込みレイアウト内の特定のフィールド間における相互作用と、ユーザ・フィールドにヌル値があるかどうか調べるビジネス・ルールによって引き起こされていました。この問題は修正されました。
155120	6.1.4	インポートとエクスポート	ヌルの日付を含むリピーティング行をインポートすると、検証エラーが発生していました	リピーティング行データを含むCSVファイルをインポートする際、リピーティング行のフィールドにヌルの日付を作成しようとすると、検証エラーが発生していました。この問題は修正され、データがインポートできるようになりました。
119763	5.2.2.2	国際化	PRIVACYフィールドのローカライズされたタイトルが追加画面に表示されませんでした	このフィールドに対するSQLではローカライズされた機能を利用せずに値を取得しており、常に英語を表示していました。本件は修正されました。
147899	5.2.2.2	国際化	PRIVACYフィールドのローカライズされたタイトルが追加画面に表示されませんでした	このフィールドに対するSQLではローカライズされた機能を利用せずに値を取得しており、常に英語を表示していました。本件は修正されました。
77394	6.0.4	LDAP	SSO_PRIMARYKEYに“@”が含まれていると、SSO認証が正しく動作しませんでした	このバグは修正されました。
155395	6.1.1	レイアウト・レンダリング	AV_NULL_PARENT_IS_NONEがYESに設定されている場合の、編集画面における許容値フィールドとVisible If属性との相互作用	この問題はJavaScriptリフレッシュでのみ発生しており、対応策は許容値の組み合わせに対してページ・リフレッシュに切り替えることでした。ある状況では、Visible If属性によって不適切な許容値が表示されることがありました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
157660	6.2.1	レイアウト・レンダリング	HTML_PREフィールドおよびHTML_POSTフィールドは、読み取り/書き込み権限がなくてもレンダリングされていました	追加/編集レイアウト上のHTML_PREフィールドおよびHTML_POSTフィールドには特殊な処理が行われるため、これらのフィールドのフォーマット時に読み取り/書き込み権限が考慮されていませんでした。このバグは修正されました。
158457	6.2.1	レイアウト・レンダリング	ネストされたレイアウトでVisible If属性のAjaxリフレッシュが動作しませんでした	3層以上にネストされた埋め込みレイアウトでは、親レイアウトのVisible If属性が失敗していました。このバグは修正されました。
158936	6.1.4	レイアウト・レンダリング	ユーザが関連issueレコードの更新ボタンをクリックすると、Ajax呼び出しタイムアウトのエラー・メッセージが発生していました	このバグはLDAPが有効にされたインストールにおいて、ユーザが空白の名前のLDAPディレクトリを検索しようとするると発生しました。この操作を行うと、LDAPサーバはすべてのレコードを返そうと試みていました。大規模なインストールではこの処理に長い時間を要し、そのためタイムアウトとなる場合があります。LDAPサーバの検索によってすべてのレコードが返されることがないようにし、この問題を解決しました。
126293	6.1.4	通知	電子メールのビジネス・ルールにより、複数のメールが同じユーザに送られていました	同じユーザが1つ以上のルールによって複数回通知に追加されたとき、電子メール・ルールではユーザが適切に減らされていませんでした。この現象は、例えば同一ユーザがルールで言及された複数のルールに属している場合など、そのユーザがルールの別の要素によって選択されていると起きていました。本件は修正されました。
142500	6.2.1	通知	クエリ内のテーブル名が多すぎるとのエラー	このエラーは、リピーティング行の多数のフィールドが変更されていて、非常に多数のユーザが1つの関係者リストでそのissueに関連付けられているサイトにおいてまれに発生しました。問題を解決するようにクエリが変更されました。
119116	6.0.4	ルール・エンジン	複製ルールにおける{NULL}がjava.lang.ArrayIndexOutOfBoundsExceptionで失敗していました	このバグは、複製ルールの中でユーザ・フィールドを使用する場合に影響ありましたが、修正されました。ASSIGNED_TO={NULL}の使用に代えて、ASSIGNED_TO={clear};を使用するという回避策がありました。
131124	6.0.3	ルール・エンジン	<==clone==>ビジネス・ルールがグローバル・エリアのルール・セクションにあると、ルールは動作しませんでした	このバグは報告され、ルールがどのビジネス・エリアまたはグローバル・エリアのルール・セクションでも動作するように修正されました。
154958	6.1.2	ルール・エンジン	"Changed to"ルール修飾子は、2番目のリピーティング行にあるフィールドでは動作しませんでした	このバグは非常に特殊な状況下で発生しました。単一のリピーティング行で始まったissueを更新する場合に、そのissueがChanged、Changed ToまたはChanged Fromのうちどれかを使用するリピーティング行フィールドに依存するルールを持っていると(その行が最初に追加された時点で)、2番目のリピーティング行ではルールが起動されませんでした。 このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
135678	6.0.4	クエリ/レポート	ある状況下で、リピーティング行の値がレポート上に表示されていませんでした	レポートにリピーティング行が含まれていて、FILTER_CHILD_VALUESという動作設定がYESに設定されており、レポートにORまたはUNIONを含むフィルタ条件が指定されていると、結果となるリピーティング行にはそのリピーティング行のフィルタ基準に合致するものが含まれます。リピーティング行はissueとリピーティング行フィルタの組み合わせによってではなく、リピーティング行フィルタのみによって制限されていました。本件は修正されました。
145816	6.2	クエリ/レポート	グラフをレポート編集画面から実行すると、ランタイムの開始日/終了日が無視されていました	時間ベースの棒グラフ・レポートで開始日と終了日のフィールドに\$RUNTIMEが設定されているときにグラフの編集画面から実行すると、誤った結果が返されていました。レポートをレポート編集画面から実行すると、ユーザにそれらのフィールドに対するランタイム値の入力が要求されるものの、ユーザが選択した実際の日付ではなく現在の日付を開始日および終了日としてグラフがレンダリングされていました。 グラフは保存済みレポートとして実行された場合は正常に動作し、ユーザにランタイム値を要求して、選択された開始日と終了日を実際の開始日および終了日としてグラフをレンダリングしていました。 このバグは修正され、保存済みグラフおよびグラフ・エディタからの実行の両方においてグラフが正常に実行されるようになりました。
147375	6.1.4	クエリ/レポート	レポートでTIMESTAMP_SINCEフィールドを利用すると、サマリ・レポートで起動ターゲットの例外が発生しました	このバグは修正されました
154109	6.2.1	クエリ/レポート	カスタム関連issue表示の中にある通貨フィールドにより、issue IDのハイパーリンクが失敗していました	関連issue表示の中のいずれかのフィールドが通貨表示タイプである場合、カスタマイズされた関連issue表示におけるissue IDのドリルダウン・リンクが失敗していました。このバグは修正されました。
155025	6.1.4.4	クエリ/レポート	ナビゲーション・バー上のレポート選択リストが一部のユーザには表示されていませんでした	この問題はInternet Explorerのユーザでウィンドウ解像度が1024x768以下の場合にのみ発生しました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
155834	6.2.1	クエリ/レポート	レポート上で通貨/小数/数値のフィールドが選択されていると、カラム・レポートの編集が失敗していました	この問題は、ある顧客がカラム・レポートを最初に保存した後に編集すると発生しました。レポートをクエリ画面から実行したときにはすべてのフィールドが出力されていたにもかかわらず、レポートを編集する際には最初にレポートで選択したフィールドのいくつかがリストから消えていました。この問題は通貨、小数、数値のフィールドを伴って保存されたレポートで起こることが判明しました。 この問題は修正されました。
192476	6.3.1	APIおよびCLI	evget CLIコマンドにおけるPerlエラー	evgetfieldsコマンドをCLIで使用すると、以下のエラーが表示されることがありました。 Newline in left-justified string for printf at ./evget line 234, <STDIN> line 2. この問題は修正されました。
192703	6.3.1.2	追加および編集	ExtraViewはSafari/Chrome/FirefoxにおいてEnterキーを押す操作を巧妙に処理していませんでした	ExtraViewはSafari/Firefox/Chromeのブラウザにおいて、追加/編集画面でのEnterキーの使用を巧妙に処理していませんでした。現在は、キーコードを捕捉して、これを適切に処理するようになりました。
194818	6.4	管理	Adobe Flashプラグインのパスワード・セキュリティの問題	Adobe Flashプラグインを使用してExtraViewセッションを乗っ取り、異なるユーザ・アカウントのパスワードを変更することが可能でした。現在はこれが不可能になりました。
192583	6.3.1.1	許容値	許容値の親がAREAフィールドである場合の問題	古い6.3サイトからこのコード・バージョンにアップグレードした場合にのみ、この問題が発生しました。そのバージョンからの許容値の改善により、AREAフィールドが親である許容値が適合しなくなっていました。このバグは修正されました。
194720	6.4.1	インポートとエクスポート	XMLエクスポートの実行後にファイルをインポートすると、保存済みのグラフを実行または編集することができませんでした	この問題は、XMLエクスポートでレポートをエクスポート対象から明示的に除外した場合に発生しました。インポートではレポートの欠如を誤って処理し、既存のグラフで問題が起きていました。このバグは修正されました。
194741	6.3.1.3	インポートとエクスポート	xmlエクスポート・ファイルの出力の制限に日付の範囲を使用すると、不適切なフォーマットのXMLファイルが作成されました	XMLエクスポートで日付の範囲を使用するフィルタが正しく動作していませんでしたが、修正されました。
194742	6.4	インポートとエクスポート	ビジネス・エリアのメタデータ・インポートの問題	メタデータのXMLエクスポートの実行後、ファイルをインポートしたとき、ユーザがエクスポート元のデータベースで作業していると、エクスポート・ファイル内のビジネス・エリアがユーザに表示されませんでした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
192626	6.4.1	レイアウト・エディタ	[画面とレポートのレイアウト・エディタ]において、レイアウトを異なるビジネス・エリアにコピーできませんでした	管理者がレイアウトを異なるビジネス・エリアとプロジェクトに保存しようとする時、レイアウトのタイトルと説明を提供する必要があるとの警告が、それらが存在するにもかかわらず表示されていました。このバグは修正されました。
194944	6.4.1	通知	6.4.1へのアップグレード後、EVMailテンプレートが動作しなくなっていました	このバグは修正されました。
193493	6.4.1	サインオン	混合ログインでLDAPログインが失敗すると、ユーザは無効なパスワードでのログインが可能でした	このバグは修正されました。
198970	6.3.1.3	追加および編集	Calendar JavaScriptファイルのエラー	Calendar JavaScriptファイルはマルチロケールのシステムにおいて正しく初期化されていませんでした。このバグは修正されました。
199429	6.4	追加および編集	編集画面で[更新して次へ]をクリックすると、システムが応答を返さなくなっていました	この問題は非常に負荷の大きいサーバでのみ確認されました。クエリの完了後にクエリからの結果集合が閉じられていなかったことと、サーバの復旧処理が間に合わずに次の処理を行えなかったことが原因でした。このバグは修正されました。
195783	6.4.1	エスカレーション	「ユーザIDがNULLである」という条件でエスカレーションが失敗していました	これはいくつかの要因の組み合わせによるものであり、セッションが正しく初期化されないためにセッションが脆弱になっていました。さらに、セッション・クリーンアップ・ロジックによってバックグラウンド・タスク・セッションがデータベースに漏出した場合、それらがタイムアウトしていました。
199502	6.4.1	ルール・エンジン	ExtraViewは複数選択のユーザ・フィールド(LDAPを使用しているポップアップ・フィールド)にリストされた受信者にテンプレート・メールを送信していませんでした	複数選択のユーザ・フィールドで2人以上のユーザが選択されていると、以下のルールが動作しませんでした。 <pre><= preupdate ==> ## チケットがクローズ済になったとき、社内のクローズ通知リスト・フィールドにリストされたユーザにメールを送信する if (AREA='Internal Ticket' && STATUS. {changed to:Closed}) { {MAIL:'In house Closure Notification', IN_HOUSE_CLOSURE_NOTIFY_LIST}; }</pre> この問題は修正されました。
185346	6.2.1.1	APIおよびCLI	APIコマンドadd_attachmentにより、添付ファイルの説明が設定されないことがありました	この問題は、APIによって一度に1つずつ添付ファイルをアップロードするのではなく、複数の添付ファイルを一度にアップロードする処理に関連して発生していました。ファイル名と説明との順序を入れ換えるという対処法がありました。現在は、この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
166347	6.3.1	追加および編集	複数値のユーザ・フィールドと共に使用されたとき、あいまいな名前のリスト表示ウィンドウでJavaScriptエラーが発生しました	これはバグで、修正されました。
190093	6.4	追加および編集	[新規追加]ポップアップを使用すると、追加画面で間違っ たレイアウトが読み込まれました	ユーザが追加画面上のタブを使用してエリア/プロジェクトを変 更した後に、[新規追加]オプションを使用して新しいリスト値を フィールドに追加すると、ポップアップ・ウィンドウが閉じられ たとき、ページが更新され、選択されていたエリア/プロジェク トではなく、ユーザの現在のエリア/プロジェクトを使用（読み 取り専用属性など）してレイアウトがレンダリングされていまし た。このバグは修正されました。
189911	6.2.3	管理	エンドユーザのセッションにおいて、期限切れ時刻として NEVERという値が表示されることがありました	これは、セッションに許容された期限切れ時刻が負の値になっ たときに発生しました。コードに抜け穴があり、最大休止間隔が適 切に初期化されずに-1のままになっていたために、問題が起きて いました。
190154	6.3.1.1	データベース	security_group_user テーブルに、security_user_id、 security_group_id をインデックスとして加えました	この新しいデータベース・インデックスは、security_groupテー ブルにおけるクエリのパフォーマンス改善に役立ちます。
189682	6.4	一般的なコード の問題	複数選択のリスト・フィールドで選択された値を読み取り 専用フォームに表示したとき、ソート順序が保持されてい ませんでした	これは単なる表示上の問題でしたが、修正されました。
190040	6.4	一般的なコード の問題	別のユーザのパスワードを変更できなくなりました	有効な正規のユーザIDとパスワードを既に持っている、別のパス ワードを持つIDを知っていたハッカーが、ページの編集と再送信 を伴う複雑な方法を使って、別のユーザのパスワードを変更でき ていたことが判明しました。この動作を防止し、ユーザが別の ユーザのパスワードを決して変更できないようにしました。
189462	6.3.1	レイアウト・レ ンダリング	MAXLENGTHより大きい値をログ・エリア・フィールドに ペーストすることが可能でした	ログ・エリア・フィールドに設定が可能なMAXLENGTHというセル 属性があります。ユーザが直接フィールドに情報を入力した場合 にはこれが順守されましたが、ユーザが情報をフィールドにペ ーストしたとき、MAXLENGTH属性が無視されていました。このバグ は修正されました。
189805	6.3.1.1	クイック編集	クイック編集の操作中に、クイック編集セッションによっ てHTMLエリア・フィールドのサイズが変更されていました	これにより、HTMLエリア・フィールドの幅が過度に大きく再表示 されていたため、ユーザは全体を見るためにスクロールする必要 がありました。このバグは修正されました。
189720	6.2.3	ルール・エンジ ン	リンク・ビジネス・ルールにより既存のissueが取得され ないことがありました	このバグは、リンク指示が（最もよく使用される検索方法であ る）PARENTタイプ以外の関係を検索できていなかったために起こ りました。リンク指示は正しくMEMBERSおよびCHILDRENを取得す るようになりました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
190184	6.3.1.1	Webサービス	ITEM_ID_DISPLAY=ALT_IDであるとき、WebServiceのgetItem呼出しが動作しませんでした	この問題によって、インストールにおいて各issueのキーとしてIDではなくALT_IDを使用している場合に、Webサービス呼出しが動作しませんでした。すべてのItemServiceリクエストに、新しいitemIdStrというフィールドが付加されます。このフィールドをitemIdの代わりに使用できます（また、使用すべきです）。itemIdは後方互換性を保つためにのみ用意されています。
165276	6.3.1	追加および編集	サーバからの応答時間が10秒を超えると、編集画面でAjaxタイムアウトが発生しました	編集画面のIDフィールドに多くの“visible if”やその他の依存関係が存在する大規模なサイトでは、パフォーマンス上の影響によりAjaxリフレッシュのタイムアウトが発生することがありました。IDフィールドの値は決して変更されないと想定し、異なるテクニックを使用してロジックを処理したことにより、パフォーマンスへが大幅に向上しました。
166347	6.3.1	追加および編集	複数値のユーザ・フィールドと共に使用されたとき、あいまいな名前のリスト表示ウィンドウでJavaScriptエラーが発生しました	これはバグで、修正されました。
166713	6.3.1	追加および編集	テキストをHTMLエリア・フィールドにコピー&ペーストすると、ペーストされたテキストがレコードに保存されませんでした。	ユーザがブラウザ外部にあるソースからHTMLエリア・フィールドへとテキストをペーストした後、レコードを保存すると、ペーストされたテキストがレコードに保存されませんでした。バグは修正されました。
185266	6.3.1.1	追加および編集	許容値 - 表示タイプがリストとラジオボタンである追加画面のフィールドで転送エラーが発生しました	この問題は、追加画面の許容値の親値と、リピーティング行にある対応する子値で発生していました。この構成で、リピーティング行にあるフィールドの子値を選択すると、ajax転送エラーが発生しました。
185372	6.3.1.1	追加および編集	1つのリストに非常に多数のレコードが含まれている場合の、許容値リストのパフォーマンスを改善しました	UDFリストに5万件を超えるエンタリが含まれており、それが許容値リストの一部であった場合、子レコードを取得するのにやや時間がかかっていました。この処理のパフォーマンスは大幅に改善しました。
185454	6.3.1.1	追加および編集	埋め込みレイアウトのAjaxリフレッシュの後にフィールド値が消去されていました	いくつかのフィールドと埋め込みサブ・レイアウトに同時にAjaxリフレッシュを実行しようとすると、この問題が発生しました。このように構成されたとき、Ajaxリフレッシュによってサブ・レイアウト内の値が消去されていました。 このバグは修正されました。
186365	6.2.3	追加および編集	組み込みフィールドPRODUCT_NAMEにおけるAjaxリフレッシュの問題	PRODUCT_NAMEフィールドに依存するフィールドにかかわるリフレッシュ・ルールが一貫した動作を示しませんでした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
186366	6.3.1.1	追加および編集	Ajaxタイムアウト後の操作により必須フィールドが無視されていました	ユーザがAjaxタイムアウト状態を無視してissueの更新を続行すると、必須フィールドが無視されていました。Ajaxコールからサーバへの応答を待機している間にキーボードがロックされる時間を延長することにより、この状態を解消しました。
186369	6.3.1.1	追加および編集	HTMLエリア・フィールドにおけるハイパーリンク機能の動作が一貫していませんでした	HTMLエリア・フィールドの中でハイパーリンクをクリックしたとき、URLへのリンクが起動しない場合があります。これはタイミングの問題でしたが、修正されました。
186395	6.3.1	追加および編集	ヨーロッパの文字セットを持つ国際文字が、添付ファイルの説明から失われていました	ヨーロッパの国際文字が、添付ファイルのコメントおよび添付ファイルのユーザ情報から失われていました。これは文字のエスケープの問題でしたが、修正されました。
186246	6.3.1.1	管理	管理者権限を持たずに別のユーザのパスワードを変更することが可能でした	[ユーザのパスワードを変更]のページへのリンクを借用して、それを別のユーザの詳細情報で編集すると、ページを送信してそのユーザのパスワードをリセットすることが可能でした。本件は修正され、適切な制御を回避することが可能ではなくなりました。
189207	6.3.1.1	管理	ユーザの[名]フィールドが読み取り専用であり、管理者がユーザのアカウント情報を更新した場合、そのフィールドが非表示になっていました	これはUSER_FIRST_NAMEフィールドが読み取り専用で設定されている異常な構成でのみ発生したバグでした。このバグは修正されました。
181954	6.3.1.1	ホーム・ページ	ホームページ・レポートは昇順でのみソート可能であり、降順にすることができませんでした	この問題はバージョン6.3.1.1で発生しましたが解決され、ホームページ・レポートのカラムは昇順と降順の両方でソート可能になりました。
183505	6.3.1	インポートとエクスポート	エリア/プロジェクトが指定されていないユーザをインポートする際、ファイル・インポートを実行しているユーザのデフォルトのエリア/プロジェクト値が取り込まれませんでした。	ユーザ・インポート機能によりユーザをインポートするとき、インポートを実行するユーザのエリア/プロジェクトの値が新しいユーザに引き継がれませんでした。データベースではArea id=0、Project id=0に設定されていました。本件は修正され、異なる値が指定されていない場合には、新しいユーザは現在のユーザのエリアとプロジェクトを継承するようになりました。
185448	6.3.1.1	インポートとエクスポート	単一エリアのメタデータ・エクスポート/インポートにおいて、必要なセキュリティ権限および関係グループが取り込まれませんでした。	このバグは修正されました。
186351	6.3.1.1	レイアウト・レンダリング	[更新して続行]ボタンのOnClickイベントにより"setState" JavaScriptが呼び出されなくなったため、"userJavaScriptUpdateBtn"ユーザ・カスタムJavaScript関数が決して呼び出されませんでした	この問題は、JavaScriptが正しく呼び出されるように修正されました。
186392	6.3.1.0.2	レイアウト・レンダリング	表示タイプが数値であるフィールドが、_SEARCHレイアウトに小数で表示されていました	これは数値が常に_SEARCHタイプ・レイアウトにおいて小数コンポーネントで表示されるという、完全に外観上の問題でした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
189432	6.2.3	パフォーマンス	レポートにおけるクエリを最適化し、security_userテーブルへの影響を軽減しました	MySQLデータベースでは、レポートで頻繁に使用されるクエリの実行が遅く、数百人もユーザを有する活発なサイトにおいてパフォーマンスに影響が出ていました。発生させていたボトルネックを取り除くように、クエリが最適化されました。
166793	N/A	クイック編集	セキュリティ権限キー、PR_RESOLUTION、QUICKEDIT_BUTTONがグローバル・エリアでしか動作しませんでした	別々の権限を他のビジネス・エリアとプロジェクトに設定できませんでした。このバグは修正されました。
181952	6.3.1.1	クイック編集	最後の行でクイック編集を行うと、ホームページ・レポート上に余分な空白が生成されました	ホームページ・レポートでHTMLエリア・フィールドが使用されており、ユーザがレポートの最終行を変更するためにクイック編集を使用した場合にのみ、この問題が発生しました。これは単に外観上の問題でしたが、修正されました。
186396	6.3.1.1	クイック編集	クイック編集の完了後、クイック編集セッションによってHTMLエリア・フィールドのサイズが変更されていました	これにより、HTMLエリア・フィールドの幅が過度に大きく再表示されていたため、ユーザは全体を見るためにスクロールする必要がありました。このバグは修正されました。
189214	6.3.1.1	クイック編集	Internet Explorer 7では、HTMLエリア・フィールドがクイック編集画面で適切に表示されていませんでした	このバグはIE 7でのみ発生しました。この問題をできるだけなくすため、クイック編集セッションでのHTML エリア・フィールドのレンダリングが変更されました。
185350	6.3.1.1	ルール・エンジン	ERRORルールが起動されると、モーダルなポップアップ・ウィンドウがフリーズして編集不能になっていました	新しいモーダルなポップアップの編集画面が追加画面においてERROR状態を引き起こすビジネス・ルールによって、エラー・ダイアログが表示されたときにモーダル・ウィンドウがフリーズしていました。このバグは修正されました。
189413	6.3.1.0.3	ルール・エンジン	混合ライセンス方式が、ロールに基づく電子メール・ルールに影響していました	これは混合ライセンス方式が導入されているサイトにも影響していました。特定のユーザ・ロールにメールを送信する電子メール・ルールがある場合、フローティング・ライセンスのユーザのみがメーリング・リストに追加され、ユーザロック・ライセンスのユーザはメーリング・リストに追加されませんでした。このバグは修正されました。
189206	6.3.1.1	クエリ/レポート	ユーザは自身が削除できないレポート・フォルダの作成が可能でした	クエリ・ページの[レポート・フォルダの管理]ボタンを使用すると、パブリック・レポートの保存権限がないユーザ・ロールを持つユーザがPublic Reportsフォルダに任意の数のフォルダを作成できましたが、それらを削除することはできませんでした。この問題は修正されました。
183661	6.3.1.1	Zapatec	HTMLエリア・フィールドのカラー・ピッカーにおいて080から099までの赤の値を入力した場合の問題	これは、カラー・ピッカーに赤の値を直接入力できないという軽微な問題でした。それでも、スライダーおよびカラー・ブロックを使用して色を選択することは可能でした。
186297	6.2.1.1	データベース	security_userテーブルのインデックスが変更されました	security_userテーブルのインデックスが再作成され、この頻繁に使用されるテーブルにアクセスする際のパフォーマンスが向上しました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
219700	6.5	追加および編集	編集画面がステータス変更時に右にずれてレンダリングされていきました	これはAjaxリフレッシュで発生していた不明瞭なレンダリングの問題でした。これは単に外観上の問題でしたが、修正されました。
219701	6.5	添付ファイル	添付ファイルのドラッグアンドドロップ・アプレットによりJavaScriptエラーが発生していました	この問題は添付ファイルの説明が必須ではなく、ユーザによって供給されなかった場合にのみ発生しました。ほんの少数の顧客だけがこの条件を使用していましたが、この問題は修正されました。
219748	6.4.1.3	レイアウト・レンダリング	タブ順序が一部のリピーティング行レイアウトで正しく動作しませんでした	フィールドを含まない空のセルがあるリピーティング行レイアウトにおいて、タブの順序が正しく機能しませんでした。このバグは修正されました。
219711	6.5	関係	関連するissueの表示がIE7とIE6のブラウザにおいて空白になる場合があります	これは一部の関連するissueの表示でのみ発生していました。この問題はブラウザのバグによるものです。ブラウザの問題に対処することにより、本件は修正されました。
217020	6.4.1.2	ルール・エンジン	ユーザ・フィールドを設定する際、refreshルールによって他の値がクリアされていました。	これはレンダリングの問題でしたが修正されました。
219658	6.5	クエリ/レポート	レポート・スケジューラからのレポート出力では、階層レポートの子レベルの代替タイトルが無視されていました	これはバグでしたが、修正されました。
221522	6.3.1.2	Webサービス	Webサービス呼出しでは、propertiesファイル内のユーザIDとパスワードが正しく動作する必要がありました。	この制限が撤廃されました。
222787	6.5	添付ファイル	添付ファイル追加用ポップアップに空のウィンドウが表示されていました。	これは1つの顧客のサイトでのみ発生していた不明瞭な問題で、そのサイトでは追加/編集画面に多数のフィールドが含まれており、その中に多数の複数値のポップアップ・フィールドがあり、それぞれに非常に多数のエントリが含まれ、それらの大部分に多くのテキストが含まれていました。 この問題は解決されました。
223133	6.5.0.1	パフォーマンス	タブ・フィールドの値を変更したとき、エンドユーザが容認できない程度の遅延が発生していました。	この現象はJavaによるタイムスタンプの処理が原因でした。ExtraViewが内部的に変更されたとき、Java Calendarオブジェクトによるタイムスタンプ処理効率の低下を考慮していませんでした。この問題は修正されました。
223289	6.5	パフォーマンス	ExtraViewの速度が遅くなり、ユーザへの応答を停止していました。	この問題は、数百人のユーザがすべて同じホームページ・レポートを共有する、非常にトラフィックの多いシステムにおいて確認されました。そのホームページ・レポートでは各ユーザに対して多くの添付ファイルが表示されていました。これらの要因が重なり、数日間にわたってシステム・リソースが消費し尽くされた結果、メモリが不足してサーバ再起動が必要となっていました。 この問題に影響していたシステム・リソースを制御するために、MESSAGE_WORKER_COUNTという新しい動作設定が作成されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
223228	6.5.0.1	ルール・エンジン	ビジネス・ルール - load指示のルールの評価が過多に行われていました。	loadルールの実行が編集画面ごとに1回ではなく、データのリピーティング行ごとに1回ずつ行われていたため、パフォーマンスの問題が発生していました。この問題は解決されました。
223094	6.3.1.2	クエリ/レポート	ユーザが保存済みグラフとしてグラフを生成すると、グラフのエディタ画面から生成するときとは異なる結果が出力されていました。	両者のグラフ生成方法では、拡張フィルタに対して同じ設定が使用されていませんでした。これらはグラフに対しては常に有効に設定されるべきです。この問題は修正され、現在では一貫した結果が表示されています。
223304	6.5	クエリ/レポート	ソート順序フィールドがなく、IDフィールドへのアクセスがないカラム・レポートを実行すると、InvocationTargetExceptionエラーが発生しました。	これは非常にまれな構成でしたが、この構成ではユーザがカラム・レポートを実行できませんでした。この問題は修正されました。
225126	6.5.0.1	クエリ/レポート	レポート結果をユーザ・フィールドでソートすると、例外が発生していました。	これはバグでしたが修正されました。このエラーは、ユーザがカラム・レポートを生成した後、表示タイプが「ユーザ」であるフィールドのカラム・タイトルをクリックすると発生しました。
225232	6.5.0.1	クエリ/レポート	ダッシュボード内の円グラフに対し、計算が適切な階層レベルで行われていませんでした。	階層的なフィルタを使用するグラフでは正しい結果が表示されていませんでした。この問題は修正されました。
223221	6.5	サインオン	ユーザ・タイムアウトにより、別のユーザが非公開のデータにアクセスする機会が与えられていました。	ユーザが他のユーザとコンピュータを共有してブラウザ・ウィンドウを開いたままにしていたとき、そのブラウザ・ウィンドウにタイムアウトの警告が示されると、別のユーザが再認証を受けて、最初のユーザのデータにアクセスすることが可能でした。この動作が廃止され、元のユーザだけが当該ブラウザ・セッションで再認証されるようになりました。
225865	6.5.0.2	APIおよびCLI	CLIの-Aオプション(匿名アクセス)がバージョン6.5.0.2で動作しなくなっていました	このバグは新しい代替ユーザIDの機能に関係していました。API経由での匿名アクセスが機能しなくなっていました。この問題は修正されました。
225572	6.5.0.2	追加および編集	フィールドに多くのユーザ名が選択されているとき、複数値のポップアップ・ユーザ・フィールドのユーザ・ルックアップ・アイコンが機能しませんでした	この問題はInternet Explorerでのみ発生しました。多数の名前が選択された状態で複数値のユーザ・リスト・ポップアップが開かれると、エラーが表示されることがありました。この問題は修正されました。
228001	6.5.1	添付ファイル	添付ファイル・アイコンを表示する際のパフォーマンスが改善されました	多くのドキュメントが含まれるレポートは、エラー処理のためレンダリングに想定を超える時間がかかっていました。コードが改善され、処理が速くなりました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
226021	6.5	データベース	EV_CACHEテーブルが時間の経過と共に大きくなりすぎていました	EV_CACHEテーブルには、他の項目とともにすべてのユーザ・セッションのセッション情報が格納されます。ExtraViewが起動されると、すべてのユーザ・セッションはサーバの再起動によって必要でなくなったため、このテーブルでそれらを削除する処理が行われます。大規模なサイトの顧客からは、テーブルのサイズが大きいためこの処理に長時間かかることが報告されていました。 定期的に古い情報を消去するアルゴリズムが改善され、テーブルが過度に肥大しないように、また起動時の処理に長時間かからないように、古くなったユーザ情報がより早く削除されるようになりました。
227071	6.5.0.2	LDAP	LDAP_USER_LOOKUPを有効にした状態でルックアップ・ユーザ・アカウント・ディレクトリを開くと、ArrayIndexOutOfBoundsExceptionが発生しました	このバグは新しい代替ユーザIDが配置されたときに発生しており、完全には動作しないLDAPインストールがありました。この問題は解決されました。
225900	6.5.0.2	レイアウト・エディタ	レイアウト・エディタから属性にアクセスしようとする、HTML修飾子を伴うレイアウト要素属性によってJavaScriptエラーが発生することがありました	この問題は、レイアウト・セル属性で"onclick"や"onchange"などのJavaScriptキーワードの表示が処理できないバルーン・ヘルプにおいて発生しました。この問題は修正されました。
225509	6.5.0.1	PERFORCE統合	PERFORCE統合デーモン・サービスのインストール・ファイルの問題	最新のPERFORCE統合デーモンをMicrosoft Windowsサービスで構成するためにインストール・スクリプトで使用されるパラメータが、すべての状況下で動作しませんでした。この問題は修正され、Windowsサービスが確実に構成できるようになりました。
227479	6.5.1	ルール・エンジン	ルールに記述された自己参照のlinkディレクティブが、issueを正しく更新しませんでした	追加または更新の対象となる現在のレコード(それ自体)を照合するために定義されるlinkディレクティブが、正しく機能していないように見受けられました。例えば、以下のpostupdateルールおよび定義済みのlinkディレクティブによって、追加/更新対象となる現在のレコードにはALT_IDフィールドにIDの値が割り当てられるべきでした： <pre><== postupdate ==> if (ALT_ID. {null}) { {UPDATE: myselfLink ALT_ID = ID}; } <== link myselfLink ==> ID</pre>

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
227727	6.5.0.2	クエリ/レポート	クエリ・フィルタの値が実行時フィルタ画面で選択された値の代わりに[*なし*]と表示されていました	これは外観上の問題であり、ランタイム・フィルタ用の入力を受け入れるポップアップの複数値リストに、選択された値ではなく[*なし*]が表示されていました。一方、レポートは正しく実行されていました。この問題は修正されました。
227903	6.5.0.2	クエリ/レポート	階層レポートで結果が返されずにタイムアウトしていました	クエリにおいてデカルト積のマージ結合を引き起こしていたSQLに問題がありました。この問題は修正されました。
228722	6.5.1.1	追加および編集	新しいissueをデータベースに追加できませんでした	マイナーリリース6.5.1.1へのアップグレード後、追加レイアウトにリピーティング行レイアウトが含まれていなかった場合に、新しいissueをデータベースに追加することができませんでした。複数のリピーティング行をレイアウトに追加する機能によって、リピーティング行レイアウトが全く存在しなかった場合に問題が生じていました。この問題は修正されました。
230451	6.5.1.1	ルール・エンジン	リストを{null}に代入しているビジネス・ルールがコンパイルされませんでした	この問題は6.5.1.1.1で組み込まれました。リスト・フィールドにNULL値が代入されたルールにのみ影響していました。
230627	6.5.1.1	ルール・エンジン	Rule.javaにおけるNullPointerが修正されました	これはエスカレーションの実行後にログファイルにNULLポインタが記述されるが、どのルールも実行されないという問題でした。このバグは修正されました。
228707	6.5.1	クエリ/レポート	スケジュールレポート選択リストからユーザ・ロールを選択すると「ページでエラー発生」と表示されていました	これは微細な問題であり、修正されました。
228577	6.5.0.2	追加および編集	カレンダーおよびタイムゾーンにおける日付と時刻の問題	時刻を含む完全な日付形式を使用したタイムゾーン変換によって、日付が正しく変換されないことがありました。この問題は修正されました。
228722	6.5.1.1	追加および編集	新しいissueをデータベースに追加できませんでした	マイナーリリース6.5.1.1へのアップグレード後、追加レイアウトにリピーティング行レイアウトが含まれていなかった場合に、新しいissueをデータベースに追加することができませんでした。複数のリピーティング行をレイアウトに追加する機能によって、リピーティング行レイアウトが全く存在しなかった場合に問題が生じていました。この問題は修正されました。
230603	6.5.0.1	追加および編集	Firefox:ユーザ・ルックアップ・ダイアログにおいて、カーソルが最初は表示されませんでした	この現象はFirefoxブラウザでのみ発生しました。この問題は修正されました。
232150	6.5.1.2	履歴	1つのissueに10個を超えるリピーティング行フィールドがあった場合、履歴画面でリピーティング・レコードの順序が狂っていました	この現象は、数値によるソートではなく英数字によるソートが用いられたために発生しました。この問題は修正されました。
230694	6.5.1.2	インポートとエクスポート	XMLエクスポート/インポートでスケジュールレポートが正常に移動されていませんでした	この問題は解決されました。
233392	6.5.1.3	レイアウト・レポート	重複した関連issue表示レイアウトが、選択されたタブ付きレイアウトで編集画面にレンダリングされていました	これはコーディング・エラーであり、修正されました。
228512	6.5.0.2	通知	電子メール・テンプレートがプレーンテキストのEメールに.txtバージョンを使用しない場合がありました	これはテキストタイプの電子メール・テンプレートに時々影響していたバグでした。それは修理されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
234747	6.3	PERFORCE統合	ファイル・パス名の中で空白が正しく処理されませんでした	空白文字を含むPERFORCEパス名が統合デーモンにおいて正しく処理されませんでした。この問題は修正されました。
232094	6.5.1.2	パフォーマンス	非常に大きい管理リストをブラウザでレンダリングすると、長時間かかっていました	大きいリストの処理時間が改善され、何万件ものエントリがあるリストでも適当な時間でレンダリングされるようになりました。
230451	6.5.1.1	ルール・エンジン	リストを{null}に代入しているビジネス・ルールがコンパイルされませんでした	この問題は6.5.1.1.1で組み込まれました。リスト・フィールドにNULL値が代入されたルールにのみ影響していました。
230627	6.5.1.1	ルール・エンジン	Rule.javaにおけるNullPointerが修正されました	これはエスカレーションの実行後にログファイルにNULLポインタが記述されるが、どのルールも実行されないという問題でした。このバグは修正されました。
228515	6.1.4.1	クエリ/レポート	レイアウト・コンテナに設定されたPDFレポートでは、関連レコードがあるissueについてレコード表示が一貫していませんでした	この現象は、関連するレコードに後続レコードの中にあるものと同じ値が含まれていた場合に発生しました。値がある最初の関連レコードのみがレンダリングされました。この問題は修正されました。
228707	6.5.1	クエリ/レポート	スケジュールレポート選択リストからユーザ・ロールを選択すると「ページでエラー発生」と表示されていました	これは微細な問題であり、修正されました。
230481	6.2.4	クエリ/レポート	保存されたレポートを編集する際、クエリ・フィルタの[*なし*]の値が消えていました	このバグはユーザ表示タイプがポップアップであるフィールドにのみ関係しました。この問題は修正されました。
231270	6.5.1.2	クエリ/レポート	無効なカレンダー日付によってjava.lang.Exceptionがスローされていました。java.lang.Exception: Invalid calendar date	この現象は、ユーザが「24時間形式の時刻」を設定しており、2つの日付の間で時間ベースのクエリを実行した場合にのみ発生しました。このバグは修正されました。
232086	6.5.0.2	ユーザ・カスタム	ユーザ・カスタム・イグジットucRenderListValuesでは、selectedVals HashMapのフィールドへのデフォルト値の割り当てが動作しないことがありました	この問題は修正されました。
234699	6.5.1.2	ユーザ・カスタム	カスタム・コードからExtraViewに渡される親値と子値が正しくないことがありました	値が正しく渡されるようにロジックが改訂されました。
234944	6.5.1.2	APIおよびCLI	APIのupdateコマンドがフィールド・レベルの権限に完全には従っていませんでした	リピーティング行のフィールドを更新するAPI呼出しに書き込み権限がないにもかかわらず、フィールドの更新が可能であったことが判明しました。すべてのフィールドが設定された権限に正しく従うように、この問題は修正されました。
235076	6.5.1.2	APIおよびCLI	insert_xml DTDの問題	項目データのインポート処理を行うDTDで、AREAフィールドとPROJECTフィールドの処理が不適切であることが判明しました。このDTDが修正されました。改訂版は http://docs.extraview.com/site/extraview65/administration-guide/import/export/import-andexport/import-item-data にあります。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
234837	6.5.1.3	追加および編集	関連するissueの表示において、最初のレベルを超えてナビゲートすることができませんでした	異なるプロジェクト間でレコードを関連付けるために複数の関連issue表示を設定しているサイトで発生しました。この問題は、関連issue表示レイアウトの編集ボタンまたは{子}の追加ボタンを使用して、異なるレベルのレコード間でナビゲートしたときに確認されていました。関連issue表示の編集ボタンか追加ボタンをクリックすると、子の画面に遷移する代わりに、編集中の現レコードの親へと表示が戻ってしまうという問題でした。この問題は修正されました。
235012	6.5.1.3	エスカレーション	特定顧客のインストールにおいてエスカレーションが失敗していました	ある顧客が、エスカレーション機能でissueの更新を試みたときの例外を報告しました。バージョン6.5.1.3で追加されたリピーティング行の新機能が原因でエスカレーションが失敗し、その後誤ったレイアウトを更新のための情報に利用しようとしていました。この問題は修正されました。
234609	6.3.1	一般的なコード	カラー・テーマimages_light_blueではCSSスタイルgroupHeading0のデフォルト色が薄すぎました	濃淡の差がはっきりするように、色を濃くしました。
235117	6.5.1.2	一般的なコード	レイアウト・セル属性の構成"Update Main"によって不要な警告が出力される場合があります	これは親レコードを元に、関連するissueの子レコードを表示できるように、またユーザが子レコードから親レコードを編集および削除することを可能にするように設定する必要があります。この設定において、ユーザが親レコードから子レコードへとドリルダウンした後に子レコードを削除すると、ソフトウェアは削除された親に戻り、レコードを見つけることができなかったとの警告をユーザに示しました。現在では、ExtraViewは(今や存在しない)親レコードに戻った後に余分な警告を生成しなくなりました。
235451	6.5.1.3	LDAP	LDAP_LOGINIDを伴わずにLDAPを使用するとNULLポインタが発生しました	LDAP検索においてLOGIN_IDがマッピングされていない場合、ExtraViewはUSER_IDを使用してNULLポインタを回避するようになりました。LOGIN_IDが正しく構成されるように、必ずマッピングしておくべきです。
235475	6.5.1.3	一括更新	一括更新の処理中、PROJECTフィールドがビジネス・ルールにおいて一貫して動作していませんでした	PROJECTフィールドがAREAフィールドなしでサブMITされる場合、ビジネス・ルールが適切にPROJECTフィールドを修飾していませんでした。ルールではPROJECTの修飾されたエントリまたは非修飾のエントリのどちらかが受け入れられるべきです。この問題は修正されました。
235323	6.3	PERFORCE統合	PERFORCE統合では、名前に空白が含まれるファイルでの比較に問題がありました	この問題は修正されました。
234987	6.5.1.3	関係	親レコード追加画面の関連issue表示において削除ボタンをクリックすると、削除対象にマークされたレコードだけでなくすべての関連レコードが削除されていました	この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
235304	6.5.1.2	ルール・エンジン	API更新において、API呼出しに渡された日付/時刻の代わりに、現在の日付/時刻が使用されていました	この問題は、メインのレコード内でリピーティング行レコードを更新する際に、リピーティング行のフィールドにsysdateの値を設定するビジネス・ルールがあるときに発生していました。ソフトウェアが誤って他のリピーティング行レコードにsysdateの値を設定していました。この問題は修正されました。
234939	6.5.1.2	クエリ/レポート	スケジュールレポートが生成するメールが多すぎる場合があります	この問題は、ExtraViewが最終実行日付/時刻を設定するためにデータベースの時間ではなくアプリケーション・サーバの時間をチェックしていたために発生していました。これによって次回実行時間を計算する際にわずかな差異が生じ、余分な実行がスケジュールされることがありました。この問題は修正されました。
235387	6.5.1.3	追加および編集	初期設定が"COLLAPSE"であった場合、折りたたみフィールドが機能なくなっていました	この問題は解決されました。
235617	6.5.1.4	APIおよびCLI	APIのupdateコマンドが、最初に挿入されたリピーティング行からフィールド値を複製していました	この現象は、APIにより複数回連続して挿入処理が行われたとき、2行目以降のフィールドにはヌル値が提供されているが最初の行には当該フィールドに値がある場合に発生しました。この問題は修正されました。
235249	6.5.1.3	追加および編集	括弧を含む値がポップアップ・リスト内にあると、autocompleteオプションでエラーが発生していました	この問題は修正されました。
235142	6.5.1.3	一般的なコード	サーバ起動時、ExtraViewがWARファイルとして配備されているとログにエラーが記録されました	これはExtraViewの動作には影響していませんでしたが、ログ内のエラーは抑止されました。
235538	6.0.4	一般的なコード	ユーザ名でのUTF-8の文字に関する問題	この問題は名前にアクセント記号付き文字があるユーザで、それらのユーザがSSOからのupsertによってExtraViewに挿入された場合のみ発生していました。この問題は修正されました。
235622	6.5.1.3	インポートとエクスポート	"RID_FILTER"要素属性のXML移行では基本レイアウト・データが正しく移動できませんでした	これは、基本データベースがMySQLであり、フィルタを含む関連issue表示レイアウトがあった場合の問題でした。この状況下では、データが正しくターゲット・データベースに移行されませんでした。この問題は修正されました。
235636	6.5.1.4	クエリ/レポート	実行時フィルタがヌルである場合、日付フィールドの実行時フィルタが動作しませんでした	実行時フィルタで2つの日付が"between"で設定されており、両方の日付が空のままであった場合、ログファイルに例外が示され、レポートが生成されませんでした。この問題は修正されました。
217395	6.5	APIおよびCLI	フィルタ基準にUDFリスト値を使用すると、API履歴呼び出しによりNULLポインタが生成されていました	この問題は修正されました。
219582	6.4.1.3	追加および編集	アポストロフィのあるユーザ名が含まれるレコードをサブミットしたときの「ユーザの名前または形式が認識されません」というエラー	このエラーは、その名前が複数値のリストにあるとき、ユーザがレコードをサブミットする前にレイアウト内の別のタブをクリックした場合にのみ発生しました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
219700	6.5	追加および編集	ステータスが変更されると、編集画面が右側にシフトしてレンダリングされました	これは不明瞭なレンダリングの問題で、Ajaxリフレッシュにおいて発生していました。これは単に外観上の問題でしたが、解決されました。
221611	6.5	追加および編集	「Visible if」レイアウト・セル属性がfalseに戻されると、リピーティング行のレイアウトが非表示になりませんでした	このバグは、Visible If条件のトリガ・フィールドがYesとNoの2つの値をもつラジオボタンであった場合に発生していました。このバグは修正されました。
221685	6.5	追加および編集	複数値の[ユーザ]フィールドにあいまいな名前を追加すると、後続する名前がリストから削除されていました	あいまいな名前があってもリスト内で後続する選択値にエラーが発生しないように、このバグは修正されました。
223215	6.5	追加および編集	ポップアップ・リストのフィールド値をクリアしたときにonchangeビジネス・ルールが実行されませんでした	この問題はバグであり、修正されました。
222060	6.5.0.1	管理	スケジュール済みレポートが含まれるメタデータをインポートすると、XMLインポート・エラーが発生しました	スケジュール済みレポートの情報を格納するテーブルを含めるために、バージョン6.5においてデータベースが拡張された際、XMLエクスポート機能によりエクスポートされるテーブルのリストにこれらのテーブルが追加されていませんでした。この問題は修正されました。
225308	6.4.1.3	管理	セッション・モニター・タスクによって、Java concurrentmodificationexceptionが起こることがありました	非常に長期にわたって何の問題もなく稼働していたサイトで、時としてJava concurrentmodificationexceptionが発生してセッション・モニター・タスクが異常終了することがありました。これはメモリ不足状態に関係していました。この問題の出現を減らすように、コードが書き換えられました。
219701	6.5	添付ファイル	添付ファイルのドラッグ・アンド・ドロップ・アプレットによってJavaScriptエラーが発生しました	この問題は、添付ファイルの説明が必須ではなく、ユーザによって供給されなかった場合にのみ発生しました。それらの条件に該当するのはごく少数の顧客だけがでしたが、この問題は修正されました。
221609	6.5	添付ファイル	表示タイプがドキュメント画像であるフィールドでは、ATTACH_FILE_ENCODING権限キーがチェックされていませんでした	これが動作していなかったため、アップロードの際に想定される文字コーディング・セットのリストが抑止できませんでした。この問題は修正されました。
222728	6.5.0.1	添付ファイル	添付ファイルアップロード時のセキュリティ警告	このセキュリティ警告は、ドラッグ・アンド・ドロップによるアップロードが使用されたときにクライアント・コンピュータのJavaによって発行されていました。この問題はJavaの一部のバージョンでのみ発生しました。この状況を処理するために、警告がブラウザによって生成されなくなりました。
107416	N/A	増大エスカレー	Projectフィールドが正しく読み込まれていなかったためにエスカレーション・ルールが失敗していました	管理者はエリア内の有効なプロジェクトしか選択できなくなり、この問題は解決されました。
225181	6.3.1.2	エスカレーショ	エスカレーション・ルールのリスト・フィールドのフィルタで[*なし*]の値が機能しませんでした	これはバグであり、本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
217460	6.4.1.3	履歴	履歴レポートで組み込みJavaScriptが実行されていました	これは低レベルのセキュリティ上の問題でした。履歴画面からはExtraViewオブジェクトの更新が可能でなかったため、実行されるJavaScriptをHTMLエリア・フィールド内に埋め込むことが可能であったことは軽微な問題として判断されました。しかし、この問題は修正されました。
225652	6.5.0.1	ホーム・ページ	ホームページ→ホームページ・レポートの選択→ドロップダウン・リストが正しくソートされませんでした	この問題はサブフォルダがあった場合に発生していました。サブフォルダによって、結果が誤ってソートされていました。この問題は修正されました。
203219	6.3.1.2	インポートとエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティのフィールド・マッピングがメタデータでエクスポートされませんでした	ユーザがファイル・インポート・ユーティリティに独自のマッピングを提供していた場合、これらのマッピングがXMLエクスポート機能により移行されなかったため、別のサイトにインポートすることができませんでした。この問題は修正されました。
221602	6.5.1	インポートとエクスポート	ファイル・インポート・ユーティリティではNULLの日付が処理できませんでした	インポート・ファイルの中にNULLの日付を含めることはできませんでした。コードが変更され、日付フィールドが必須でない場合にはNULLの日付のインポートが可能になりました。
219758	6.4	LDAP	LDAP_UPSERT_USERをYESに設定してLDAPを使用すると、ユーザのログイン時にログに例外が書き込まれました	この問題は、ユーザがユーザ・フィールドに[*なし*]または[*すべて*]を入力した場合にのみ発生しました。コードではこれらをユーザ名と照合しようとしていました。この問題は修正されました。
217458	6.3.1.2	レイアウト・レイアウト	IE 8には、レイアウト上の要素にフォーカスするというJavaScriptの問題がありました	このエラーはIE 8のみで発生し、テキスト・フィールドが単独で行に配置され、テキスト・エリア・フィールドがその次の行に単独で配置され、さらにその2つのフィールド間に関係があった場合に限り発生しました。この特異な構成でIE 8のバグが露見しました。コードにIE 8バグの回避策を挿入しました。
219233	6.4.1.1	レイアウト・レイアウト	Tabフィールド表示タイプではソート順序が処理できませんでした	タブ・フィールドは元々のソート順序でのみ表示され、ソート順序の機能を使用していませんでした。この問題は修正されました。
219748	6.4.1.3	レイアウト・レイアウト	一部のリピーティング行レイアウトにおいて、タブ順序が正しく動作しませんでした	フィールドのない空のセルをもつリピーティング行レイアウトでは、タブ順序が正しく機能しませんでした。この問題は修正されました。
221540	6.5	通知	電子メール通知がレコードへのアクセス権限のないユーザに送られていました	これは動作の変更です。現在では、プライバシー・グループの設定や会社名のセキュリティによってユーザにレコードへのアクセス権が与えられていない場合、それらのユーザがissueのCCメール・フィールドに手動で入力されたとき、メール通知を受信しなくなりました。
225502	6.3.1.1	通知	emailビジネス・ルールでは、postupdate指示によって電子メール・テンプレートを使用してメールが送信されませんでした	これは比較的複雑な構成に関連する問題でした。関連するそれぞれの子レコードのユーザではなく、子issueのフィールドに格納された最後のユーザだけがメール通知を受け取っていました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
219332	6.3.1.1	Perforceとの統合	複数のジョブが修正されているチェンジリストにより、ExtraViewの1つのissueだけが更新されていました	これはバグでしたが修正されました。
223133	6.5.0.1	パフォーマンス	タブ・フィールドの値を変更したとき、エンドユーザが容認できない程度の遅延が発生していました	この現象はJavaによるタイムスタンプの処理が原因でした。ExtraViewが内部的に変更されたとき、Java Calendarオブジェクトによるタイムスタンプ処理効率の低下を考慮していませんでした。この問題は修正されました。
223289	6.5	パフォーマンス	ExtraViewの速度が遅くなり、ユーザへの応答を停止していました	この問題は、数百人のユーザがすべて同じホームページ・レポートを共有する、非常にトラフィックの多いシステムにおいて確認されました。そのホームページ・レポートでは各ユーザに対して多くの添付ファイルが表示されていました。これらの要因が重なり、数日間にわたってシステム・リソースが消費し尽くされた結果、メモリが不足してサーバ再起動が必要となっていました。 この問題に影響していたシステム・リソースを制御するために、MESSAGE_WORKER_COUNTという新しい動作設定が作成されました。
219711	6.5	関係	一部の関連するissueの表示画面が、IE7またはIE6のブラウザにおいて空白で表示されていました	これは関連issue表示画面の一部でのみ発生しました。この問題はブラウザのバグに関係していました。これはブラウザの問題に対処することにより修正されました。
217020	6.4.1.2	ルール・エンジン	ユーザ・フィールドを設定するとき、refreshルールが他の値をクリアしていました	これはレンダリングの問題でしたが、修正されました。
222773	6.5.0.1	ルール・エンジン	ルールのループ過剰エラーの誤表示	onchangeルールにおいてSTOP文に遭遇すると、アプリケーション・サーバ・ログに“Excessive rules file looping:evaluation terminated during processing triggered by:FIELD_NAME”というエントリが誤って作成されていました。 これはログでの不適切なエラーであり、実行は正しく動作していました。このログ・メッセージが削除されました。
223228	6.5.0.1	ルール・エンジン	ビジネス・ルール-load指示のルールの評価が過多に行われていました	loadルールの実行が編集画面ごとに1回ではなく、データのリピーティング行ごとに1回ずつ行われていたため、パフォーマンスの問題が発生していました。この問題は解決されました。
223302	6.5.0.1	ルール・エンジン	ビジネス・ルールとリバース・ルックアップでの操作順序の問題	これは特異なエラーであり、ユーザがオートコンプリート機能を使用してポップアップ・リスト・フィールドまたはポップアップ・ユーザ・フィールドから値を選択する場合にのみ発生しました。ユーザが入力した文字でフィールド値に有効な一致項目が得られたとき、その値または他の値を選択しなかった場合でも、issueがデータベースに保存される際にそのフィールド値が入力されていました。この問題は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
223323	6.5	ルール・エンジン	ポップアップ形式で示されるリスト・フィールドを利用すると、リンク指示が失敗していました	リスト表示タイプのフィールドはポップアップを使用するように設定された場合を除き、正しく動作していました。この問題は修正されました。
50609	5.1.1	クエリ/レポート	Firefoxに限り、拡張クエリ・フィルタのポップアップ Userフィールドに50文字までの制限がありました	この制限をすべてのブラウザについて2,000文字に拡張しました。
199572	6.3.1	クエリ/レポート	ユーザが読み取り権限を失ったフィルタ/フィールドを含むレポートを編集しようとする、警告が示されるようになりました	あるユーザに、あるレポートの作成と保存が正規に可能であったとします。その後、管理者が当該レポートの1つ以上のフィールドに対するそのユーザの権限を削除したとします。ユーザがレポートを編集すると、レポートから単にフィールドが除外される代わりに警告が出力されるようになりました。
203061	6.4.1.1	クエリ/レポート	Queryページにアクセスを試みたとき、不適切なユーザ・グローバル・エントリによって invocation targetの例外が発生しました	検索フィルタを保存する際に問題が発生すると、ユーザにはエラーが示され、管理者がデータベース内の不適切なレコードをクリアするまで、クエリ・エンジンが使用できませんでした。この現象はいくつかの使用状況において極めてまれに起こりました。このバグ修正により不適切な検索フィルタがクリアされ、ユーザは通常どおり操作を続行できるようになりました。
217353	6.5	クエリ/レポート	サマリ・レポートのテキスト・フィールドで二重引用符の文字が使用されていると、ドリルダウンの際に問題が発生しました	まれな状況ではあるものの、ユーザがサマリ・レポート上でテキスト・フィールドを使用していて、1つ以上のテキスト・フィールドに二重引用符が含まれているとき、ユーザがレコードをドリルダウンすると、ドリルダウンが失敗していました。この問題は修正されました。
219658	6.5	クエリ/レポート	レポート・スケジューラによるレポート出力では、階層レポートの子レベルで alt_titleが無視されていました	この問題はバグであり、修正されました
219669	6.4.1.3	クエリ/レポート	マトリクス・レポートがダッシュボード・レポートの中にも配置されていると、レポートのグリッド線が表示されませんでした	これは外観上の軽微な問題でした。グリッド線は単独であってもダッシュボード・レポート内に配置されていても、マトリクス・レポートに表示されるようになりました。
222920	6.3.1.2	クエリ/レポート	[*なし*]というフィルタ値は、他の値とともに、グラフの検索で保存されませんでした	ユーザがグラフ・エディタにおいて複数値リストから[*なし*]の値を含むいくつかの値を選択した後、グラフを実行すると、正しい結果が表示されていました。しかし、ユーザがレポートの保存後に再度実行すると、[*なし*]のフィルタ値がクエリから削除されていました。この問題は、[*なし*]の値を保持するように修正されました。
223094	6.3.1.2	クエリ/レポート	ユーザが保存済みグラフとしてグラフを生成すると、グラフのエディタ画面から生成するときとは異なる結果が出力されていました	両者のグラフ生成方法では、拡張フィルタに対して同じ設定が使用されていませんでした。これらはグラフに対しては常に有効に設定されるべきです。この問題は修正され、現在では一貫した結果が表示されています。
225126	6.5.0.1	クエリ/レポート	レポート結果をユーザ・フィールドでソートすると、例外が発生していました	これはバグでしたが修正されました。このエラーは、ユーザがカラム・レポートを生成した後、表示タイプが「ユーザ」であるフィールドのカラム・タイトルをクリックすると発生しました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
223221	6.5	サインオン	ユーザ・タイムアウトにより、別のユーザが非公開のデータにアクセスする機会が与えられていました	ユーザが他のユーザとコンピュータを共有していてブラウザ・ウィンドウを開いたままにしていたとき、そのブラウザ・ウィンドウにタイムアウトの警告が示されると、別のユーザが再認証を受けて、最初のユーザのデータにアクセスすることが可能でした。この動作が廃止され、元のユーザだけが当該ブラウザ・セッションで再認証されるようになりました。
189642	6.4	ユーザ・カスタム	UcUtil.addUdfDate()は静的ではありません。	バージョン6.5.1において、重要なメソッドへの署名が変更されました。署名の変更により不適合が生じることはありませんが、6.5.1にアップグレードする際、すべてのユーザ・カスタム・コードを再コンパイルする必要があります。
221522	6.3.1.2	Webサービス	Webサービス呼び出しでは、propertiesファイル内のユーザIDとパスワードが正しく動作する必要がありました	この制限が撤廃されました。
192476	6.3.1	APIおよびCLI	evget CLIコマンドにおけるPerlエラー	CLIユーザがevgetfieldsコマンドを実行すると、以下のエラーが表示されることがありました。 Newline in left-justified string for printf at ./evget line 234, <STDIN> line 2. この問題は修正されました。
196055	6.0.4	APIおよびCLI	evsearchの問題、“Newline in left-justified string for printf at Client.pm line164”	これはevsearch CLIコマンドのバグでしたが、修正されました。
216993	6.3.1.2	APIおよびCLI	APIコマンドRUN_REPORTの実行時、ランタイム・フィルタとしてIDを使用できませんでした。	REPORT_IDが存在する場合は、それがレポートの生成用に使用されるレポートIDになります。REPORT_IDが提供されていない場合、IDをレポートIDとして設定することにより、この問題を解決しています。
192703	6.3.1.2	追加および編集	ExtraViewはSafari / Chrome / FirefoxでのEnterキーの押下を適切に処理していませんでした	ExtraViewはSafari / Chrome / Firefoxの各ブラウザでの追加/編集画面におけるEnterキーの使用を適切に処理していませんでした。キーコードを捕捉して、これを適切に処理するようになりました。
198970	6.3.1.3	追加および編集	Calendar JavaScriptファイルのエラー	Calendar JavaScriptファイルがマルチロケールのシステムで正しく初期化されていませんでした。このバグは修正されました。
199429	6.4	追加および編集	編集画面で[更新して次へ]をクリックするとシステムが応答しなくなっていました	この問題は非常に負荷が大きいサーバにおいてのみ確認されました。クエリが完了した後もクエリからの結果集合がクローズされていないため、サーバの復旧が間に合わずに次の処理を行えなかったことが原因でした。このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
216979	6.3.1.2	追加および編集	フォーム上でフォーカスを受け入れる最初のフィールドに“display:none”のスタイル属性があると、issueが編集できませんでした	ブラウザでは、非表示のフィールドにフォーカスを設定することはできません。レイアウト上の最初のフィールドに“display:none”のスタイル属性が設定されていると、フォーカスをフォームに設定できませんでした。ExtraViewはフォーム上でフォーカスの受け入れが可能な最初のフィールドを探し、そのフィールドにフォーカスを設定します。
167551	6.3.1	管理	混合認証方式が使用されているとき、PASSWORD_RULES設定が正しく機能しませんでした	ユーザ認証にLDAPサーバが使用されるように混合認証方式が設定されていると、パスワード・ルールがExtraViewサーバに直接アクセスしていたユーザには作用しませんでした。パスワード認証には影響がありませんでしたが、複雑なパスワードのためのルールを設定できませんでした。
181769	6.3.1.1	管理	レイアウト・エディタからのセキュリティ権限のポップアップ・ウィンドウに内容が表示されませんでした	レイアウト・エディタの中でレイアウト上に新しいフィールドを作成し、レイアウトを保存する前に当該フィールドのセキュリティ権限にアクセスしようとする、空のウィンドウが表示されていました。ウィンドウを閉じ、レイアウトを保存してから処理を続行する必要があります。このバグは修正されました。
194818	6.4	管理	Adobe Flashプラグインにおけるパスワード・セキュリティの問題	Adobe Flashプラグインを使用してExtraViewセッションを乗っ取り、異なるユーザ・アカウントのパスワードを変更することが可能でした。現在はこれが不可能になりました。
195868	6.4.1.1	管理	混合認証においてMAX_SIGNON_ATTEMPTSの超過後にアカウントが無効にされませんでした	LDAPサーバとExtraView認証方式が混合モードで一緒に使用されていると、ExtraView認証を使用したユーザのアカウントがMAX_SIGNON_ATTEMPTSの設定に従って無効にされていませんでした。このバグは修正されました。
197333	6.4.1.1	管理	データ辞書の[URLとして表示]フィールドの\$\$URL\$\$トークンに、一貫しない構文が使用されていました	\$\$URL\$\$フォームはドキュメントに[URLとして表示]フィールドとして明記されているとおりに機能しませんでした。これは変更され、接尾語のないフィールド参照は“NAME”エン트리となり、前にホームのURIが記述されます。\$\$URL\$\$は履歴的な意味を持つ特殊なケース（実際には、機能する\$\$URL.URL\$\$であるべき）です。一貫性および後方互換性を保つため、\$\$URL\$\$を強制的に\$\$URL.URL\$\$にする特別なケース・コードが追加されています。
199235	6.4.1.1	管理	混合モードのライセンス・キーが有効であった場合に、エンドユーザのセッション管理画面にライセンスに関する紛らわしいメッセージが表示されていました	紛らわしいメッセージが削除されました。
203095	6.2.3	管理	ツールチップ(ヘルプ・テキスト)がリピーティング行フィールドでは必ずしも表示されませんでした	リピーティング行フィールドに対してデータ辞書に定義されたヘルプ・テキストは、ブラウザでのmouseoverイベントで必ずしも表示されていませんでした。このバグは修正されました。
189885	6.3.1.1	許容値	6.0.4データベースから6.3.1へのアップグレード-親フィールドがAREAであったときに、許容値に関する問題がありました。	これはアップグレード処理スクリプトの問題でしたが、修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
192583	6.3.1.1	許容値	親がAREAフィールドであった場合の許容値に関する問題	古い6.3サイトをこのバージョンのコードにアップグレードした場合にのみ、問題が起きていました。当該バージョンでの許容値の機能改善により、AREAフィールドが親であった場合の許容値に不整合が生じていました。このバグは修正されました。
203142	6.4.1.3	添付ファイル	添付ファイルの追加における潜在的なセキュリティ上の問題	Webベースのアプリケーションに関してかなり知識があるエンドユーザが、自分にアクセス権がない可能性があるissueに添付ファイルを追加することが可能でした。また、ExtraViewの管理システムに関して相当な知識のある人がアカウントを乗っ取り、アカウントのパスワードを変更することも可能でした。これらの潜在的なセキュリティ・ホールが閉じられました。
199175	6.4.1.1	カレンダー	レポートがクエリ画面から実行されたとき、カレンダー・レポートでランタイム・フィルタが無視されていました	ランタイム・フィルタはレポート・エディタからのレポート実行時には使用されましたが、クエリ画面からのレポート実行時には使用されませんでした。このバグは修正されました。
219173	6.3.1.1	カレンダー	カレンダー・レポートのクエリの最適化	カレンダー・レポートにissueを生成するために日付の範囲ではなく単一の日付フィールドを使用すると、カレンダー・レポートの生成に過度に時間がかかっていました。データを取得するクエリが最適化され、問題は解決されました。
199046	6.4	データベース	システム・ログのサービス・カウントが顧客サイトで急激に上昇していました	顧客のサイトから取得したログ・ファイルを解析したところ、MySQLにおける特定のデータベース・クエリが問題を起こしていたことが判明しました。クエリは修正されました。
165410	6.2.1	EV Mail	致命的なタスク構成であるとのメール・メッセージが管理者に送信されていました	インストールのネットワークにおける一時的なエラー状態により、ExtraViewタスクを利用するメール・サーバやその他のサーバとの接続が途切れることがありました。接続が復旧したとき、ExtraViewはエラーがもう出現していないにも関わらず、エラーを報告し続けていました。この問題は、サービスがタスクに復旧したらエラーが停止するように修正されました。
195783	6.4.1	エスカレーション	エスカレーションが「ユーザIDがヌルである」という状態で失敗していました	これはいくつかの要因によるものでした。セッションが正しく初期化されなかったため、セッションが脆弱になっていました。さらに、セッション・クリーンアップのロジックによってセッションがデータベースに溢れた場合、バックグラウンド・タスクのセッションがタイムアウトしていました。
217460	6.4.1.3	履歴	埋め込みJavaScriptが履歴レポートで実行されていました	これは低レベルのセキュリティの問題でした。ExtraViewオブジェクトの履歴画面からの更新は不可能であることから、HTMLエリア・フィールドに埋め込まれたJavaScriptが実行されることがあるという現象は些細な問題であると判断されました。しかしながら、本件は修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
194720	6. 4. 1	インポートとエクスポート	XMLエクスポートの実行後、そのファイルをインポートすると、保存されたグラフの実行または編集が行えませんでした	この問題は、XMLエクスポートで明示的にエクスポート対象からレポートが除外されていると発生しました。インポートではレポートの欠如が誤って処理され、既存のグラフで問題が生じていました。このバグは修正されました。
194741	6. 3. 1. 3	インポートとエクスポート	日付の範囲を使用してXMLエクスポート・ファイルの出力を制限すると、不適切にフォーマットされたXMLファイルが作成されました	XMLエクスポートで日付範囲を使用するフィルタが正しく動作していませんでしたが、修正されました。
194742	6. 4	インポートとエクスポート	ビジネス・エリアについてのメタデータ・インポートの問題	メタデータのXMLエクスポートを実行し、そのファイルをインポートした後、元のデータベースでは可視になっていたのに、エクスポート・ファイル内のビジネス・エリアが可視にされていませんでした。このバグは修正されました。
203088	6. 1. 4. 1	インポートとエクスポート	XMLファイルのインポート後、レイアウトが見つからなくなっていました	管理者が、レポートをXMLエクスポートに含めるオプションと、レポートを除外するオプションの両方を選択していました。これによってXMLインポート・プロセスで対処できない問題が発生し、いくつかのレイアウトが見つからなくなっていました。このエラー状態は、管理者が両立しない情報集合のエクスポートを行えないようにすることで解消されました。
192626	6. 4. 1	レイアウト・エディタ	[画面とレポートのレイアウト・エディタ]において、レイアウトを異なるビジネス・エリアにコピーできませんでした	管理者が異なるビジネス・エリアとプロジェクトにレイアウトを保存しようとする、既に提供されているのにもかかわらず、レイアウトのタイトルと説明を提供する必要があるとの警告が表示されていました。このバグは修正されました。
217458	6. 3. 1. 2	レイアウト・レンダリング	IE 8ではレイアウト上の要素にフォーカスを設定する際のJavaScriptに問題がありました	このエラーはIE 8に固有であり、ある行にテキスト・フィールドが単独で配置されており、その次の行にテキスト・エリア・フィールドが単独で配置されていて、2つのフィールド間に関係がある場合にのみ発生しました。この特異な構成で、IE 8のバグが明らかになりました。IE 8のバグの回避策がコードに挿入されました。
191035	6. 2. 1. 1	通知	電子メール形式設定、プレーン・テキスト(要旨)でのエラー	電子メールを非常に簡潔な形式で受け取るよう指定したユーザーに、ログ・エリア(コメント)フィールドのヘッダーにHTMLコードが表示されていました。このバグは修正されました。
194822	6. 3. 1. 1	通知	ビジネス・ルールによって送信される電子メール・テンプレートの通知では、特殊タグをサポートしていませんでした	電子メール・テンプレートでは、タグの\$\$EXT_URL\$\$、\$\$APP_HOME\$\$および\$\$IMG_HOME\$\$をサポートしていませんでした。このバグは修正されました。
196010	6. 1. 4. 1	通知	電子メール・テンプレートによるメール送信にルールが使用される場合、ユーザの代替Eメールアドレスを使用できませんでした	ユーザが代替Eメールアドレスにメール通知を受け取ることを選択していて通知がルールにより生成された場合、通知がユーザの主要Eメールアドレスに送られていました。この問題は、ルールによって使用される電子メール・テンプレートでユーザの設定が考慮されるように修正されました。

Issue番号	検出リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
203190	6.3.1.1	Perforce統合	P4DESC設定が正しく動作していませんでした	P4DESC_DIFFS設定が“none”に設定され、P4DESC設定が有効なテキスト・エリア・フィールドに設定されている場合、対応するPerforceのジョブに関連付けられたチェンジリストがあっても、チェンジリスト情報がExtraViewレコードに全く渡されませんでした。現在は、ファイル差分は渡さずに、チェンジリストの説明/詳細のみを統合デーモンによって渡すようになりました。
189307	6.3.1.1	クイック編集	クイック編集が、同じホームページ・レポートにある他のレコードの詳細レポートに影響していました	同じレポートにある別のissueでクイック編集セッションが開かれているとき、同時にホームページ・レポート上のissueを表示することはできませんでした。このバグは修正されました。
216971	6.4.1.1	関係	現在のビジネス・エリアにないissueを関連issueの表示の中に作成すると、関連するissueの表示でエラーが発生しました	ユーザが自分の現在のビジネス・エリア以外のビジネス・エリアにissueを作成したとき、送信されるメール通知のレイアウトに関連issueの表示が含まれていると、関連issue表示が基本レポート用のレイアウトを見つけることができず、送信メール内に関連issue表示の代わりにエラー・メッセージが表示されていました。このバグは修正されました。
199502	6.4.1	ルール・エンジン	ExtraViewは複数選択のユーザ・フィールド(LDAP使用ポップアップ・フィールド)にリストされた受信者にレポート・メールを送信しませんでした	複数選択のユーザ・フィールドに複数のユーザが選択されていると、以下のルールが動作しませんでした。 <pre><= preupdate ==> ## Send Email to Users listed in the In-house Closure Notification List field when ticket is Closed if (AREA='Internal Ticket' && STATUS.{changed to:Closed}) { [MAIL:'In house Closure Notification', IN_HOUSE_CLOSURE_NOTIFY_LIST]; }</pre> 本件は修正されました。
167060	6.3.1.1	クエリ/レポート	ユーザがレポートが実行される猶予を与えずに“Go”ボタンを繰り返しクリックしてクイックリスト・レポートを実行すると、ユーザが保存した個人用の設定が正しく保存されませんでした。	この現象は詳細フィルタが設定されている場合に、ユーザが繰り返し間を置かずに“Go”ボタンを押した場合にのみ発生しました。この動作は廃止されました。
167750	6.3.1.1	クエリ/レポート	Safari 4ブラウザにおいて、ホームページ・レポートとクエリ・ページでJavaScriptが動作を停止していました	SafariまたはChromeのブラウザでは、あるissueにドリルダウンした後に子ウィンドウを閉じると、レポートをリフレッシュするまでは、さらに続けてissueのドリルダウンを行うことができませんでした。同様の問題がクエリ・ページでも発生しました。レポートの実行後にissueをドリルダウンすると、クエリ・ページをリフレッシュするまでは、もうそのレポートからはドリルダウンが行えませんでした。 このバグは修正されました。

Issue番号	検出 リリース	モジュール	タイトル	リリースノート
191042	6.4	クエリ/レポート	マトリクス・レポートの「開始日」フィールドで、返されるべき数を超える項目が返されていました	マトリクス・レポートでDATE_CREATED_SINCE、DATE_LAST_STATUS_CHANGE_SINCE、TIMESTAMP_SINCEのどれかを使用すると、ドリルダウンでレポート上のissue件数を超える項目が返されていました。このバグは修正されました。
203140	6.4.1.1	クエリ/レポート	クエリが実行され、期待されたすべてのレコードが返された後にも完了しませんでした	これはレポートから結果集合を処理する際のバグによるもので、ブラウザ・ウィンドウが閉じられるまでレポートが繰り返し実行されていました。この問題は修正されました。
219182	6.4	クエリ/レポート	PRODUCT_NAMEフィールドとそれに依存するフィールドがフィルタとして選択されている場合、クエリ・ページでAjaxタイムアウトが発生しました	この現象はページ・リフレッシュが選択された場合に発生しました。コードではPRODUCT_NAMEに依存するフィールドにAjaxリフレッシュを試みていました。このバグは修正されました。
193493	6.4.1	サインオン	混合ログインでLDAPログインが失敗すると、ユーザは無効なパスワードでログインすることが可能でした	このバグは修正されました。